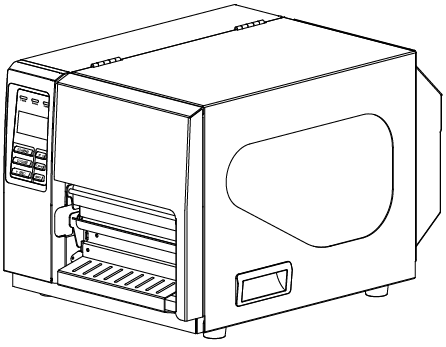
TTP-268M/ TTP-366M

熱転写式/感熱式バーコードプリンタ

取扱
説明書



著作権情報

©2011 TSC Auto ID Technology Co., Ltd,
本説明書、また本説明書内に記載されるプリンタ搭載ソフトウェアおよびファームウェアの著作権は TSC Auto ID Technology Co., Ltd の所有です。無断転載および複製を禁じます。

CG Triumvirate は Agfa Corporation の商標です。 CG Triumvirate Bold Condensed フォントは Monotype Corporation による特許所有です。 Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
その他の商標は各社の所有です。

本書における情報は事前の通知なしに変更される場合があり、TSC Auto ID Technology Co.側のいかなる義務も示すではありません。本書のいかなる部分も、TSC Auto ID Technology Co.の書面による事前の許可なく、購入者の個人的使用以外の目的で複製または転送することは、形態、手段のいかんを問わず、固く禁止します。

事業コンプライアンスおよび認可

CE クラス A
EN 55022:2006 +A1:2007
EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003
EN 61000-4 SERIES REQULATIONS

FCC CFR Title 47 パート 15 サブパート B:2009-セクション 15.107 および 15.109
ICES-003 Issue 4:2004 クラス A

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions.
(1)This device may not cause harmful interference, and
(2)This device must accept any interference received,
including interference that may cause undesired operation.

GB-4953-2001
GB9254-2008 (クラス A)
GB27625-2003
此为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰，在这种情况下，可能需要用户对干扰采取切实可行的措施。

EN 60950:-1 +A1:2009
IEC 60950-1/A1:2005(第 2 版)
EN 60950-1/A1:2006 + A11:2009 + A1:2010

目次

1. はじめに 1
1.1 製品紹介 1
1.2 製品機能 2
1.2.1 プリンタ標準機能 2
1.2.2 プリンタオプション機能 3
1.3 全般仕様 4
1.4 印刷仕様 4
1.5 リボン仕様 4
1.6 メディア仕様 5
2. 操作概要 6
2.1 開梱検査 6
2.2 プリンタ概要 7
2.2.1 正面図 7
2.2.2 内部図 8
2.2.3 背面図 9
2.3 オペレータコントロール 11
2.3.1 フロントパネルディスプレイ 11
2.3.2 LED インジケータ 11
2.3.3 フロントパネルキー 12
2.4 プリンタの設定 12
2.5 リボンの設置 13
2.5.1 リボンの取り付け 13
2.6 メディアの設置 16
2.6.1 ロールラベルの取り付け 16
2.6.2 ファンフォールドラベルの取り付け 20
2.6.3 ピールオフモード（オプション）でのメディアの取り付け (オプション) 21
2.6.4 カッターモードでのメディアの取り付け（オプション） 23
2.7 プリンタヘッド圧力調節ノブ 24
2.8 PS/2 インターフェイスとキーボードの併用 25
3. 電源スイッチ 26
3.1 設定メニュー概要 27
3.1.1-1 プリンタ設定 (TSPL2) 28
3.1.1-2 プリンタ設定 (ZPL2) 35
3.1.2 センサー 42
3.1.3 シリアル通信 50
3.1.4 イーサネット 53

3.2 ファイルマネージャ.....56
3.2.1 ファイルリスト 56
3.2.2 利用可能な メモリ 57
3.2.3 すべてのファイルを削除 57
3.3 診断.....58
3.3.1 印刷構成.....58
3.3.2 ダンプモード.....59
3.3.3 回転カッター.....60
3.4 言語.....60
3.5 サービス.....61
3.5.1 初期化 61
3.5.2 マイレージ情報.....62
4. 診断ツール 63
4.1 診断ツールの開始 63
4.2 プリンタ機能（センサーの較正、イーサネット設定、RTC 設定など……) 64
5 診断ユーティリティによるイーサネットの設定 65
5.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する 65
5.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する.....66
5.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する.....67
6. トラブルシューティング 69
6.1 一般的な問題点 69
6.2 リボンの皺を防ぐ機構微調整 73
7. メンテナンス 75
改訂履歴 77

1. はじめに

1.1 製品紹介

TSC バーコードプリンタをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本プリンタは、ダイキャストアルミニウムケース、大型クリアメディア表示ウィンドウを搭載した金属カバーを備え、極端かつ高い耐久性を要する業務環境およびその適用にて動作するようデザインされています。

バックライトグラフィック LCD ディスプレイにより、プリンタのステータスの管理もさらに容易となり、操作も一層ユーザーフレンドリーなものとなっています。 可動センサー設計で幅広いラベルメディアの適用が可能。 最も使用頻度の高いバーコード形式もすべて含まれています。 フォントおよびバーコードは、4 方向のいずれでも印刷が可能。

本プリンタには、高品質かつ高性能の MONOTYPE IMAGING® True Type フォントエンジンおよび CG Triumvirate Bold Condensed スムーズフォントを 1 種内蔵しています。 また柔軟なファームウェア設計により、ユーザーは PC からプリンタメモリに True Type フォントをダウンロードし、ラベル印刷に使用することができます。 スケーラブルフォントに加え、英数字ビットマップフォント、OCR-A、OCR-B は 5 種の異なるサイズから選択可能です。 このような豊かな機能を統合し、本プリンタはクラス内最高のコスト効率、最高の性能を誇る製品となっています！

ラベル形式の印刷には、ラベリングソフトウェアに付属の試用説明を参照してください。プログラムのカスタマイズが必要な場合は、アクセサリ CD-ROM あるいは TSC ホームページ http://www.tscprinters.com の TSPL/TSPL2 プログラミング説明書をご参照ください。

- 用途
  - 配送/受領のコンプライアンス ラベリング
  - パレット ラベリング
  - 在庫管理ラベリング
  - ドラムラベリング
  - 警告ラベル
  - カスタム サイン
  - グラフィックやロゴ、テキストを伴うブランド マーケティング
  - マルチアップ ラベル（2～3 のラベルの交差）

1.2 製品機能

1.2.1 プリンタ標準機能

プリンタには次の標準機能が搭載されています。

製品標準機能	200dpi モデル	300dpi モデル
熱転写式印刷	○	○
感熱式印刷	○	○
上質のダイキャスト アルミニウム デザイン	○	○
大型クリアメディア表示ウィンドウを搭載した金属カバー	○	○
移動可能なギャップセンサー（位置調整幅 2 インチ~4 インチ）	○	○
移動可能なブラックマークセンサー位置完全ウェブ調節可能	○	○
リボンエンドセンサー	○	○
バックライト搭載 LCD ディスプレイ（グラフィックタイプ、128x64 ピクセル）	○	○
操作用 6 ボタン付コントロールパネル	○	○
コントロールパネルセキュリティ (TCF)	○	○
LED インジケータ	○	○
リアルタイムクロック	○	○
内蔵イーサネットプリンタサーバ(10/100Mbps)インターフェイス	○	○
USB 2.0(フルスピード)インターフェイス	○	○
シリアル RS-232C(2400-115200 bps)インターフェイス	○	○
セントロニクス（SPP モード）インターフェイス	○	○
PS/2キーボードインターフェイスにより、スタンドアローンあるいは印刷現場でのデータエントリが可能	○	○
32 MB DRAM メモリ	○	○
8 MB FLASH メモリ	○	○
SD FLASH カードメモリによりストレージを 4GB まで拡大	○	○
パワフルな 32 ビット 200MHz RISC プロセッサ	○	○
Eltron® および Zebra® 言語サポートを含む業界規格エミュレーションはプリンタ開封後の即時使用が可能	○	○
内蔵英数ビットマップフォント 8 種	○	○
フォントおよびバーコードは、4 方向のいずれでも印刷が可能。(0, 90,180, 270 度)	○	○
内蔵 Monotype Imaging® true type フォントエンジン、CG Triumvirate Bold Condensed スケーラブルフォント 1 種付属	○	○
PC からプリンタメモリへのフォントダウンロード可能	○	○

<table>
<tr><td>ファームウェアアップグレードのダウンロード可能</td><td>〇</td><td>〇</td></tr>
<tr><td>文字、バーコード、グラフィック/画像印刷（サポートするコードページは TSPL/TSPL2 プログラミング説明書をご参照ください）

<table>
<tr><td colspan="2">バーコードサポート</td><td>画像サポート</td></tr>
<tr><td>1 次元 バーコード</td><td>2 次元 バーコード</td><td rowspan="2">BITMAP、
BMP、
PCX</td></tr>
<tr><td>コード 39、
コード 93、
コード 128UCC、
Code128 サブセット A.B.C、
Codabar、
Interleave 2 of 5、EAN-8、
EAN-13、
EAN-128、
UPC-A、
UPC-E、
EAN および UPC 2(5)デジット拡張、
MSI、
PLESSEY、
POSTNET、
China POST、
RSS-14、
コード 11、</td><td>PDF-417、
Maxicode、
DataMatrix、
QR code、
Aztec</td></tr>
</table></td><td>〇</td><td>〇</td></tr>
</table>

1.2.2 プリンタオプション機能

プリンタには次のオプション機能が提供されています。

製品オプション機能	ユーザーオプション	販売店オプション	工場出荷オプション
アプリケータ I/O インターフェイス	−	−	〇
ピールオフキット（内蔵巻き戻しスピンドルおよびピールオフモジュールを含む）	−	〇	−
高耐久性カッターモジュール(最大用紙幅： 178 mm、用紙厚み: 最大 0.25mm/最大用紙重量 250g/m^2、1000000 カット）	−	〇	−
Bluetooth モジュール(RS-232C インターフェイス)	〇	−	−
ディスプレイつきキーボードユニット(KP-200 Plus)	〇	−	−
KU-007 Plus プログラム可能スマートキーボードディスプレイユニット	〇	−	−
HCS-200 ロングレンジ CCD スキャナ	〇	−	−

1.3 全般仕様

全般仕様	
外形寸法	355 mm (幅) x 337 mm (高) x 510 mm (奥行)
重量	23 kg (48.5 lb)
電力	内蔵スイッチイング電源アダプタ AC 入力: 90~230VAC、47~63HZ DC 出力: 24V、14.58A、350W
環境条件	動作: 5 ~ 40ºC (41 ~ 104ºF), 25 ~ 85% 結露なし 保管: -40 ~ 40ºC (-40 ~ 104ºF), 10 ~ 90% 結露なし

1.4 印刷仕様

印刷仕様	200dpi モデル	300dpi モデル
プリンタヘッド解像度	203 ドット/インチ (8 ドット/mm)	300 ドット/インチ (12 ドット/mm)
印刷方式	熱転写式および感熱式	
ドットサイズ（幅x長さ）	0.125 x 0.125 mm (1 mm = 8 ドット)	0.084 x 0.084 mm (1 mm = 12 ドット)
印刷速度（インチ/秒）	4, 5, 6, 7, 8ips 選択可能 最大 8ips	4, 5, 6ips 選択可能 最大 6ips
最大印刷幅	168 mm (6.61")	
最大印刷長	5,080 mm (200")	2,540 mm (100")
印刷結果バイアス	垂直: 最大 1 mm 水平: 最大 1 mm	

1.5 リボン仕様

リボン仕様	
リボン外径	最大 81 mm
リボン長	450 メートル
リボンコア内径	25.40 mm (25.4 mm)
リボン幅	最大 178 mm (7")
	最小 50.8 mm (2.0")
リボン巻きタイプ	インク面外巻き、インク面内巻き
リボンエンド種類	透明

1.6 メディア仕様

メディア仕様	200dpi モデル	300dpi モデル
ラベルロール容量	208.3 mm (8.2")	
メディア位置合わせ	エッジ位置合わせ	
ラベルタイプ	連続、ダイカット、ブラックマーク、ファンフォールド、ノッチ	
ラベル巻きタイプ	印刷面外巻き	
メディア幅（ラベル＋ライナー）	最大 172.7 mm (6.8")	
	最小 50.8 mm (2.0")	
メディア厚（ラベル＋ライナー）	最大 0.254 mm (10 ミル)	
	最小 0.06 mm (2.36 ミル)	
ラベルロールコア直経	76.2 mm (3")	
ラベル長	最小 10 mm (0.39")	
ラベル長(ピーラーモード)	最大 152.4 mm (6")	
	最小 24.5 mm (1")	
ラベル長(カッターモード)	最大 5,080 mm (200")	最大 2,540 mm (100")
	最小 24.5 mm (1")	最小 24.5 mm (1")
ギャップ高	最小 2 mm	
ブラックマーク高	最小 2 mm	
ブラックマーク幅	最小 8 mm (0.31")	

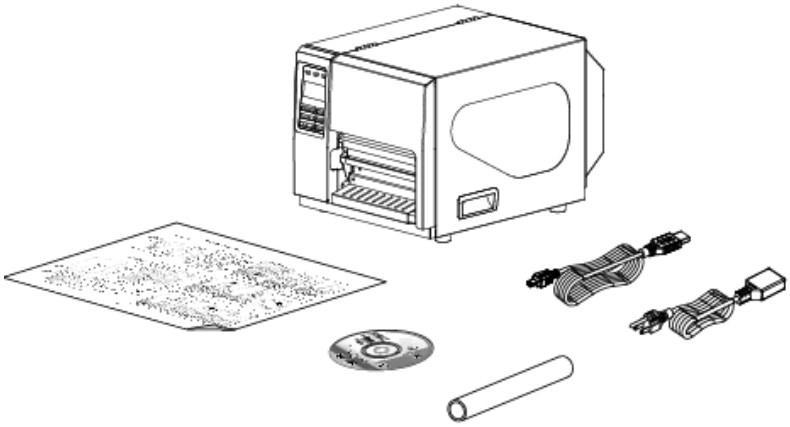
2. 操作概要

2.1 開梱検査

このプリンタは出荷中に損傷しないよう特別に梱包されています。 バーコードプリンタを受け取ったら、すぐパッケージとプリンタを注意深く点検してください。 プリンタを送り返すときに必要となる場合があるので、梱包資材は保存しておいてください。

プリンタのカートンには、次の品目が含まれています。

- プリンタ装置 x1
- Windows ラベリングソフトウェア/Windows ドラバーCD ディスク x1
- クイックインストールガイド x1
- 電源コード x1
- USB インターフェイスケーブル x1
- リボンテークアップペーパーコア 1 本



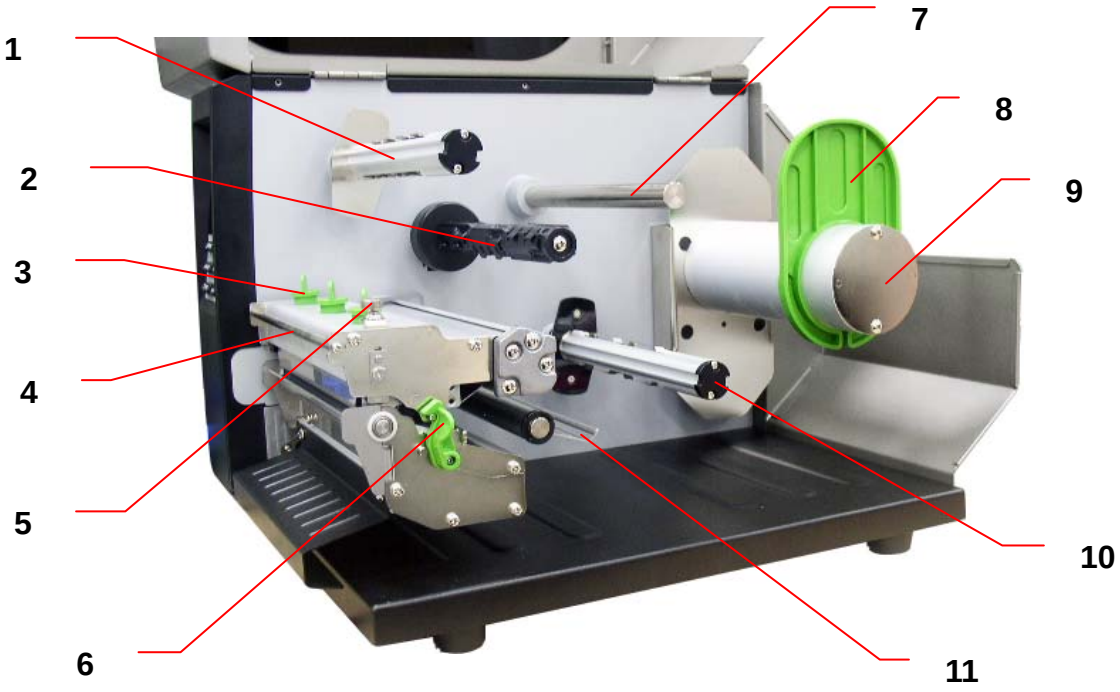
部品が不足している場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

2.2 プリンタ概要

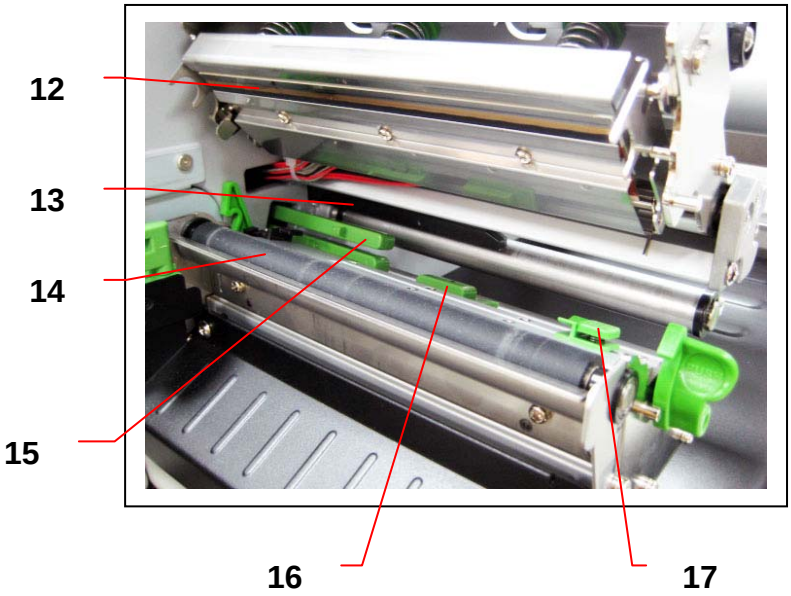
2.2.1 正面図

1. LED インジケータ
2. LCD ディスプレイ
3. フロントパネルボタン
4. 排紙シュート
5. 低部フロントカバー
6. メディアビュー ウィンドウ
7. プリンタ右側カバーオープナー

2.2.2 内部図



1. リボン巻き戻しスピンドル
2. リボンサプライスピンドル
3. プリンタヘッド圧力調節ノブ
4. リボンガイドバー
5. Z 軸メカニズム調整ノブ
6. プリンタヘッドリリースレバー
7. メディアガイドバー
8. ラベルロールガード
9. ラベルサプライスピンドル
10. 内蔵巻き戻しスピンドル（オプション）
11. ダンパー
12. プリンタヘッド
13. リボンセンサー
14. プラテンローラー
15. ギャップセンサー
16. ブラックマークセンサー
17. ラベルガイド



2.2.3 背面図

1. ファンフォールド用紙入口シュート
2. セントロニクスインターフェイス（SPP モード）
3. USB 2.0 インターフェイス(USB 2.0/ フルスピードモード）
4. RS-232 インターフェイス (最大 115,200 bps)
5. 電源ジャックソケット
6. GPIO インターフェイス（工場出荷オプション）
7. SD カードスロット（最大 4G）
8. 内蔵イーサネットインターフェイス(10/100Mbps)
9. PS/2 キーボードインターフェイス
10. 電源スイッチ

注記：

このインターフェイス画像は参照用です。 インターフェイスの可用性については製品仕様をご覧ください。

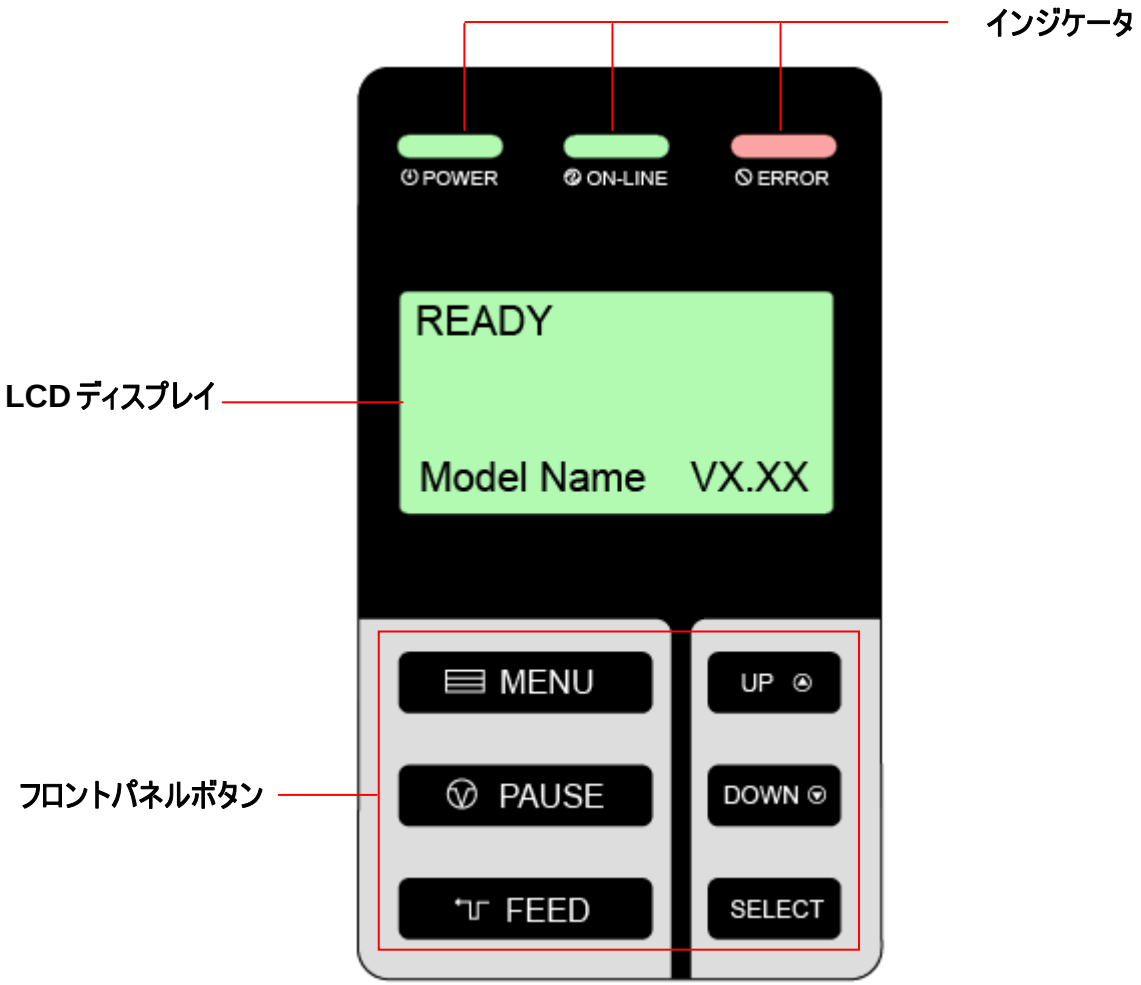
*** 推奨 SD カードの仕様**

SD カード仕様	SD カード容量	認定 SD カード製造元
V1.0, V1.1	128 MB	SanDisk, Transcend
V1.0, V1.1	256 MB	SanDisk, Transcend, Panasonic
V1.0, V1.1	512 MB	SanDisk, Transcend, Panasonic
V1.0, V1.1	1 GB	SanDisk, Transcend, Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	4 GB	
V2.0 SDHC CLASS 6	4 GB	SanDisk, Transcend, Panasonic
V1.0, V1.1	microSD 128 MB	Transcend, Panasonic
V1.0, V1.1	microSD 256 MB	Transcend, Panasonic

V1.0, V1.1	microSD 512 MB	Panasonic
V1.0, V1.1	microSD 1 GB	Transcend, Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	microSD 4 GB	Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 6	microSD 4 GB	Transcend
V1.0, V1.1	miniSD 128 MB	Transcend, Panasonic
V1.0, V1.1	miniSD 256 MB	Transcend, Panasonic
V1.0, V1.1	miniSD 512 MB	Transcend, Panasonic
V1.0, V1.1	miniSD 1 GB	Transcend, Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	miniSD 4 GB	Transcend
V2.0 SDHC CLASS 6	miniSD 4 GB	
- DOS FAT ファイルシステムは SD カードに対応しています。 - SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは 8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。 - SD カードリーダ用の miniSD/microSD カードアダプタが必要となります。		

2.3 オペレータコントロール

2.3.1 フロントパネルディスプレイ



2.3.2 LED インジケータ

LED	ステータス	表示
POWER	オフ	プリンタの電源はオフです
	オン	プリンタの電源はオンです
ON-LINE	オン	プリンタ準備完了
	点滅中	一時停止
		データをプリンタにダウンロード中
ERROR	オフ	プリンタ準備完了
	オン	「キャリッジが開いています」あるいは「カッターエラー」
	点滅中	「紙がありません」、「紙詰まり」あるいは「リボンがありません」

2.3.3 フロントパネルキー

キー	機能
MENU	1. メニューを入力 2. メニューを終了、あるいは設定をキャンセルし前のメニューに戻ります
PAUSE	印刷処理を一時停止/再開します
FEED	ラベルをひとつ進めます
UP	メニューリストをスクロールアップします
DOWN	メニューリストをスクロールダウンします
SELECT	カーソルが置かれているオプションを確定/選択

2.4 プリンタの設定

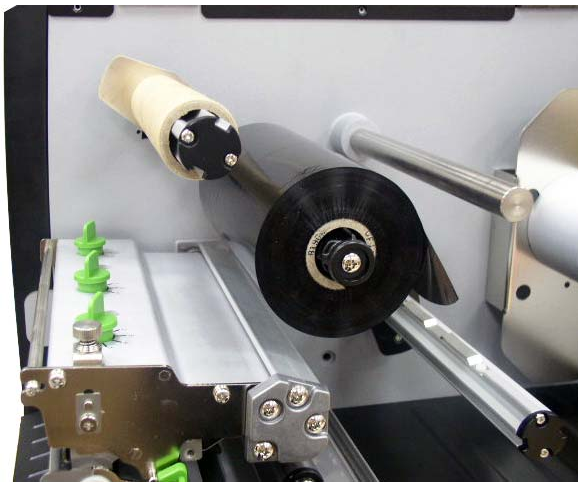
1. プリンタを平らで安全な表面に置きます。
2. 電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
3. 付属の USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
4. プリンタ背面の AC 電源コードソケットに電源コードを差し込み、正しく接地した電源コンセントに電源コードを差し込みます。

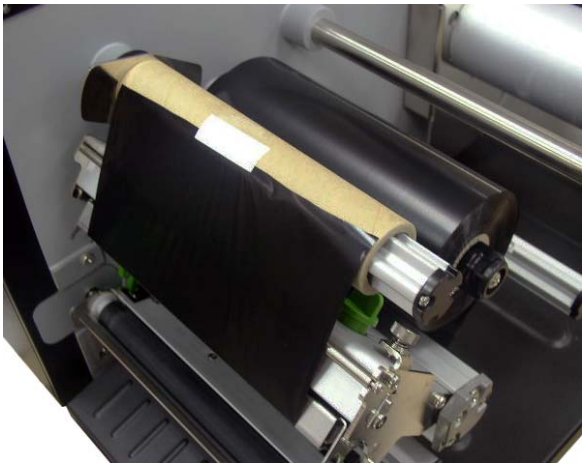
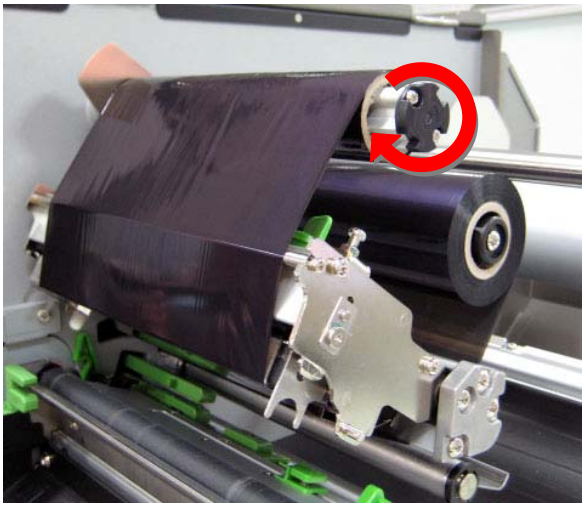
注記:

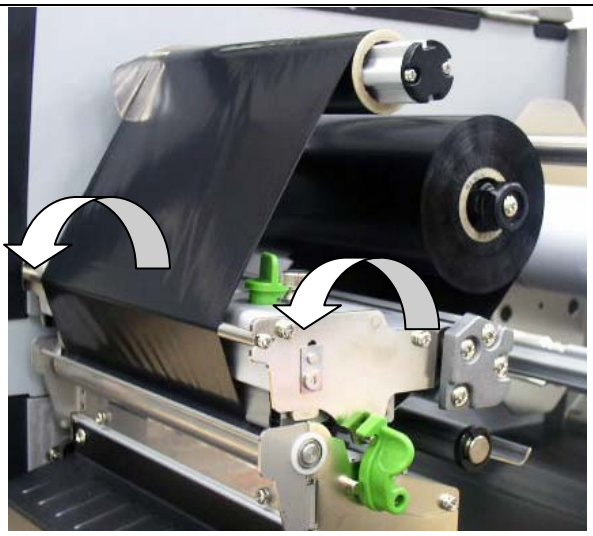
プリンタ電源スイッチを OFF(オフ)にしてから、電源コードをプリンタの電源ジャックに差し込んでください。

2.5 リボンの設置

2.5.1 リボンの取り付け

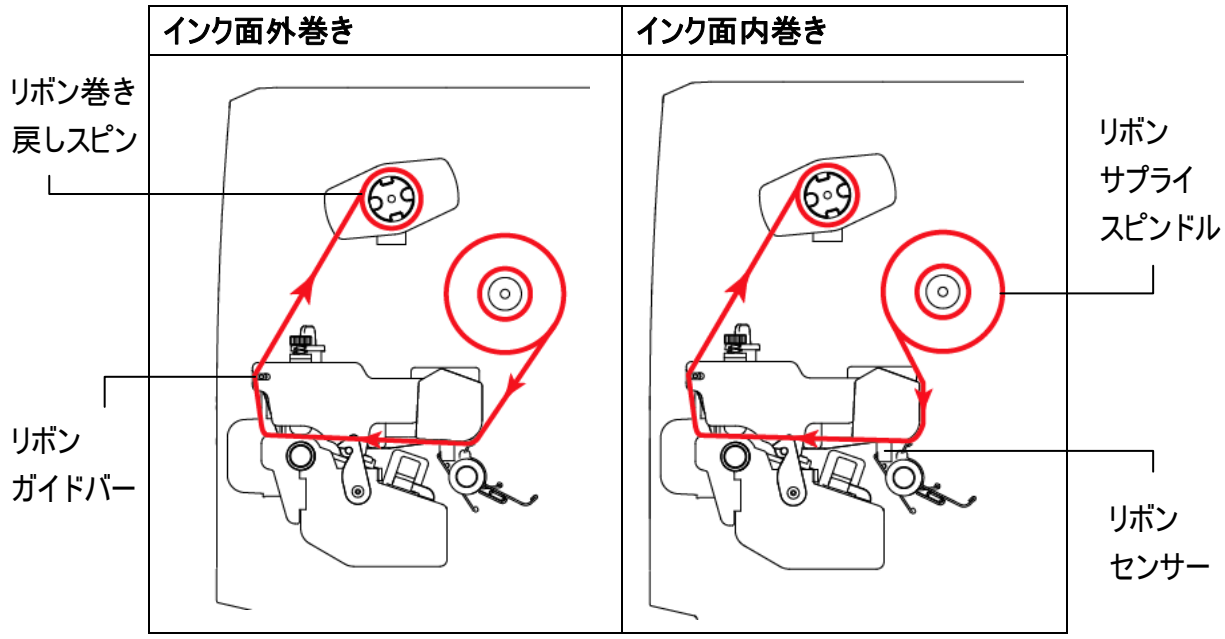
	1. ハンドルを持ち上げてプリンタ右側カバーを開けます。
	2. リボンおよびペーパーコアをリボンサプライスピンドルとリボン巻き戻しスピンドルに取り付けます。
	3. プリントヘッドリリースレバーを押してプリンタヘッド機構を開けます。

	4. リボンはリボンセンサースロットを通し、続いてプリンタヘッドとプラテンの間の空間を通します。
	5. リボンをペーパーコアに留めます。 リボンは皺のよらないよう平らに保ちます。
	6. リボン巻き戻しスピンドルに、リボンが滑らかで適切に引き伸ばされるまで 3~5 回ほど時計回りに巻き付けます。



7. プリンタヘッド機構を閉じ、留め金がしっかり嵌まっていることを確認します。

- **リボンの取り付け経路**



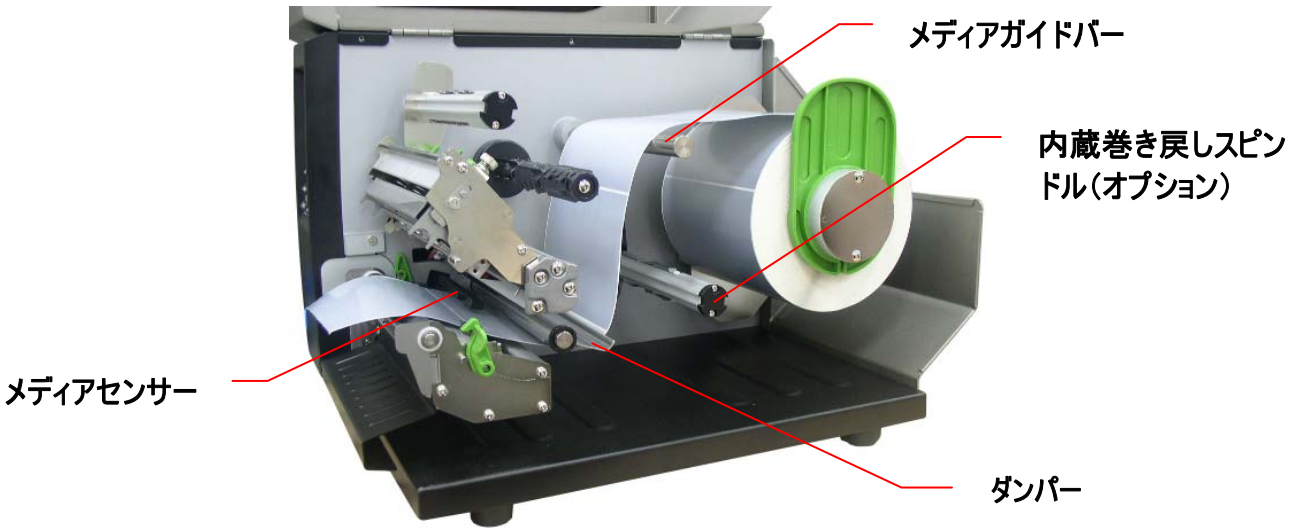
2.6 メディアの設置

2.6.1 ロールラベルの取り付け

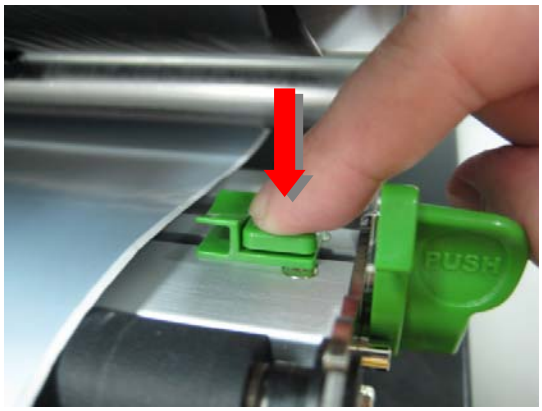
	1. ハンドルを持ち上げてプリンタ右側カバーを開けます。
	2. プリントヘッドリリースレバーを押してプリンタヘッド機構を開けます。
	3. ラベルロールガードをラベルスピンドルから外します。

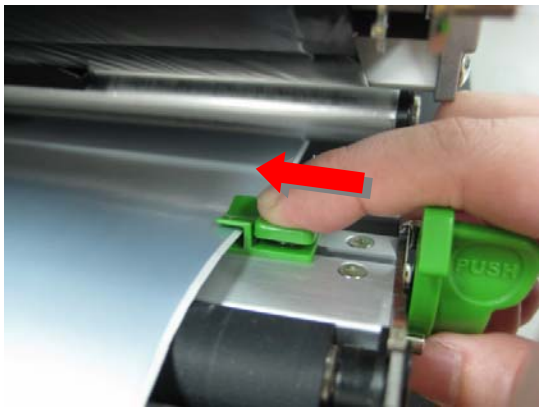
4. ラベルサプライスピンドル上にメディアのロールを置き、ラベルスピンドルの奥に接するまで押します。ラベルロールガードをゆっくり動かし、ラベルロールの幅に合わせます。

5. ラベルロールの先端をメディアガイドバー、ダンパー、およびメディアセンサーに通して引き出し、続いてラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。

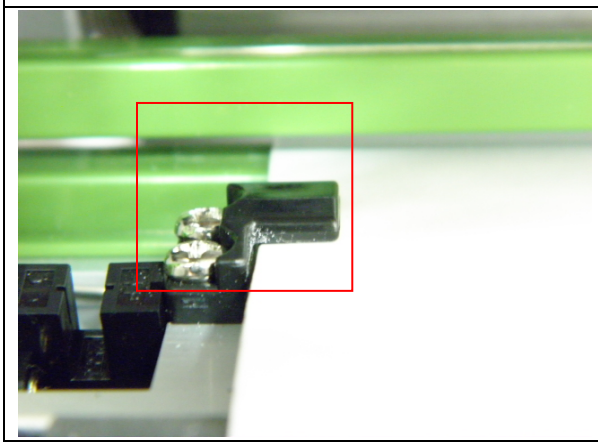
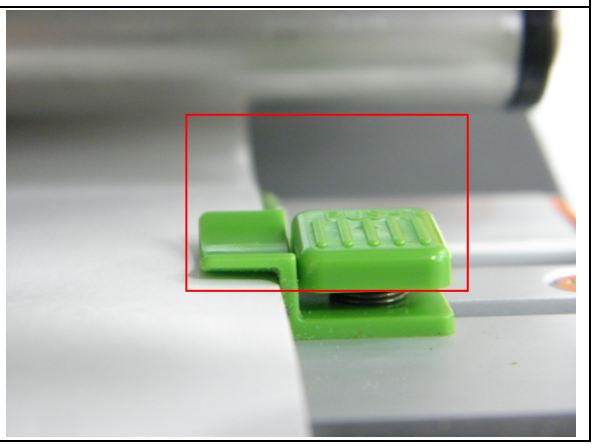


6. ラベルガイドをラベルの幅に合わせて調整します。





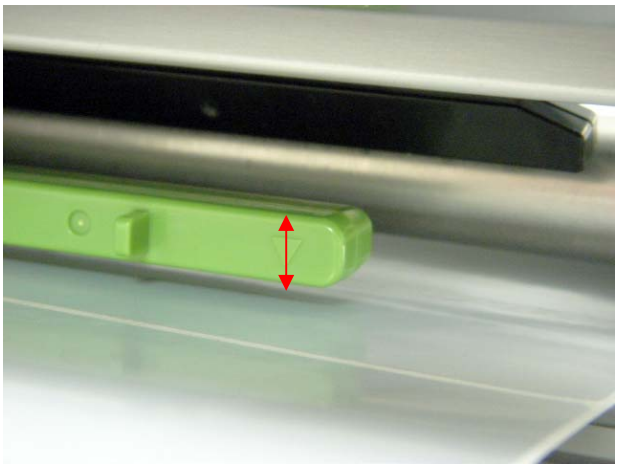
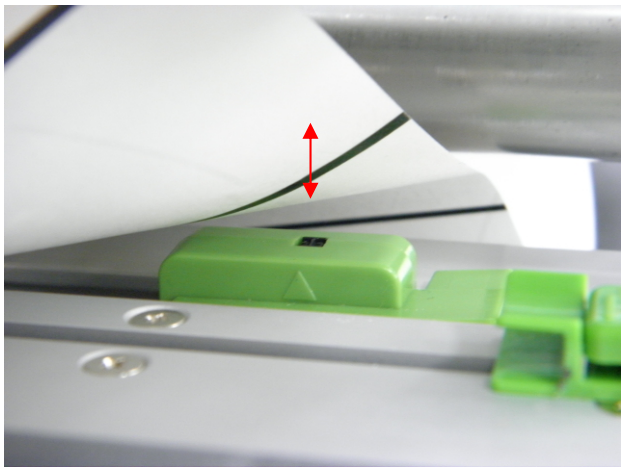
7. ラベルが両方のラベルガイドに挟まれていることを確認します。

左ラベルガイド	右ラベルガイド(調節可能)
	

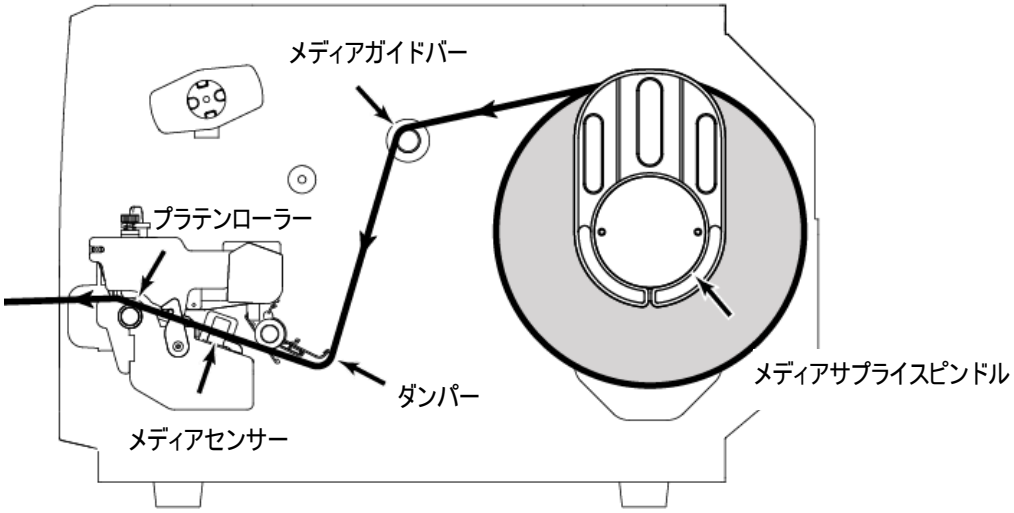
8. プリンタヘッド機構を閉じます。掛け金がしっかりかかっていることを確認してください。
9. フロントディスプレイパネルを使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを較正します。(セクション 3.1.2 を参照してください)

注記:

- **メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを較正してください。**
- **センサー位置はセンサー収納部の三角型の印 ▽ で示されています。**
- **メディアセンサー位置は移動可能ですので、メディアギャップ/ブラックマークが通過しセンサーが反応する位置にギャップあるいはブラックマークが位置するようにしてください。**

ギャップメディア	ブラックマークメディア
	

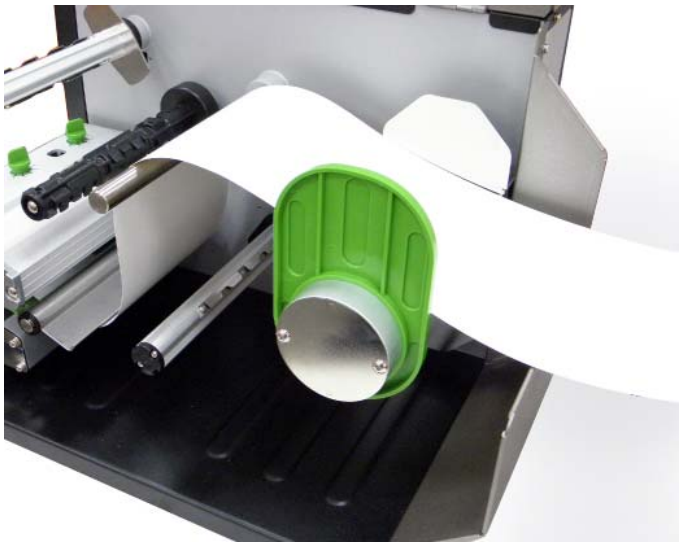
- **ロールラベルの取り付け経路**



2.6.2 ファンフォールドラベルの取り付け

背面の外部ラベル入口シュートからファンフォールドメディアを送ります。

1. ハンドルを持ち上げてプリンタ右側カバーを開けます。
2. プリントヘッドリリースレバーを押してプリンタヘッドメカニズムを開けます。
3. ファンフォールドメディアを背面の外部ラベル入口シュートを通して挿入します。

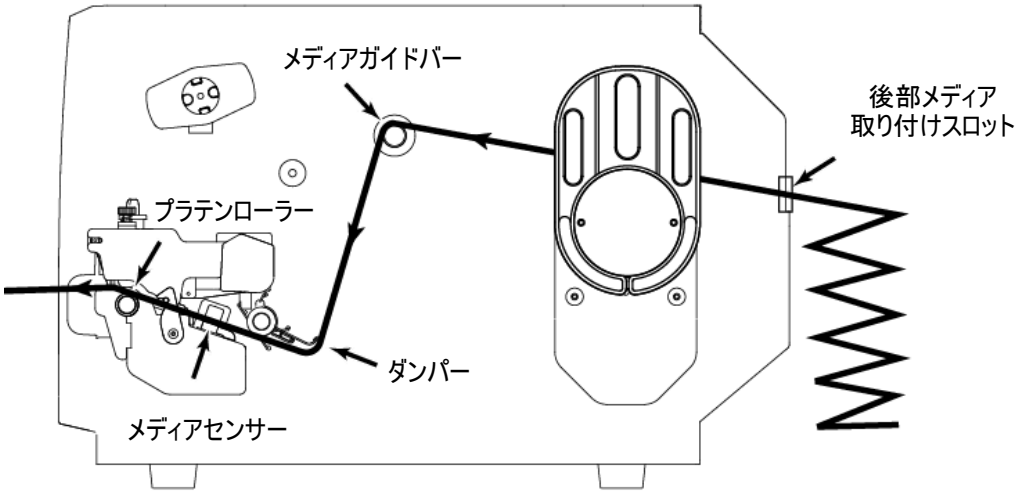


4. ファンフォールドの先端をメディアガイドバー、ダンパー、およびメディアセンサーに通して引き出し、続いてラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。
5. ラベルガイドを用紙の幅に合わせてスライドして調節します。
6. プリンタヘッド機構を閉じ、留め金がしっかり嵌まっていることを確認します。
7. メディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを較正します。（セクション 3.1.2 を参照してください）

注記：

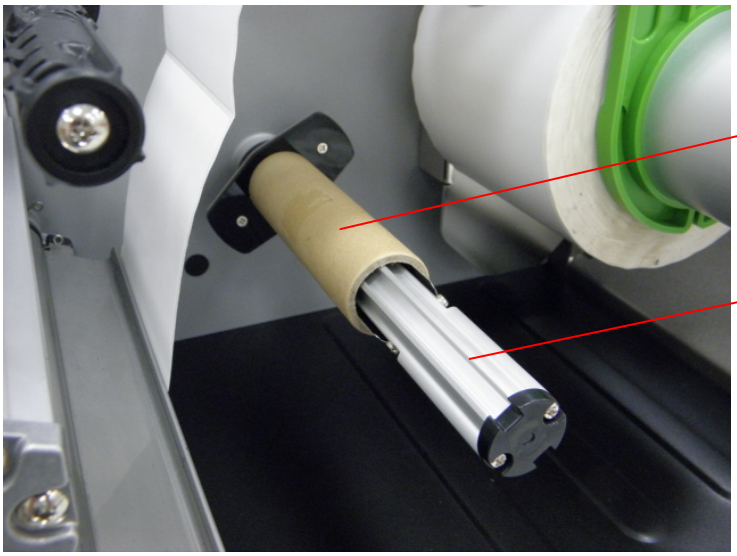
メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを較正してください。

- **ファンフォールドラベルの取り付け経路**

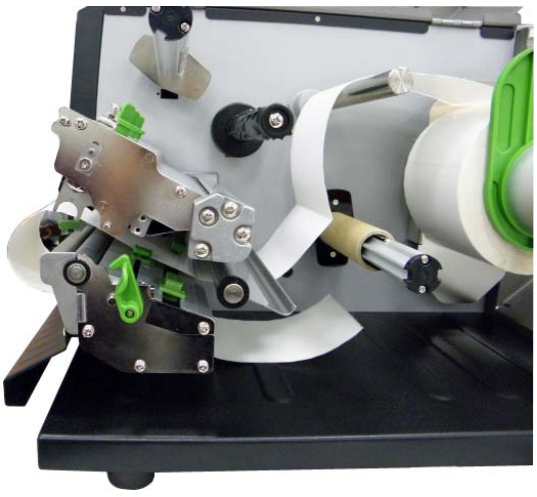


2.6.3 ピールオフモード（オプション）でのメディアの取り付け (オプション)

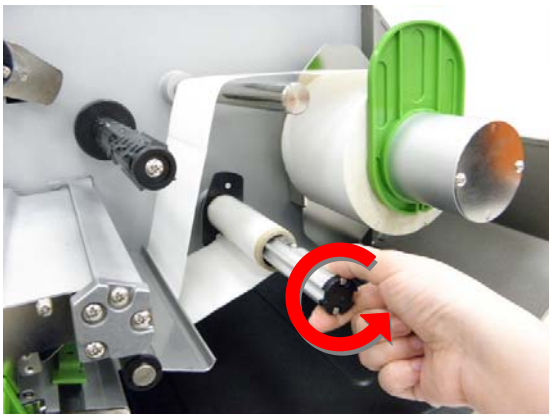
1. ラベルを取り付けます。（2.6.1 章を参照してください）
2. フロントディスプレイパネルを使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを較正します。（3.1.2 章を参照してください）
3. ペーパーコアを内蔵巻き戻しスピンドルに取り付けます。



4. プリンタ正面からラベルを約 650mm ほど引き出し、ラベルをいくつか剥がしてライナーのみを残します。
5. ライナーをピールオフカバースロットにフィードします。

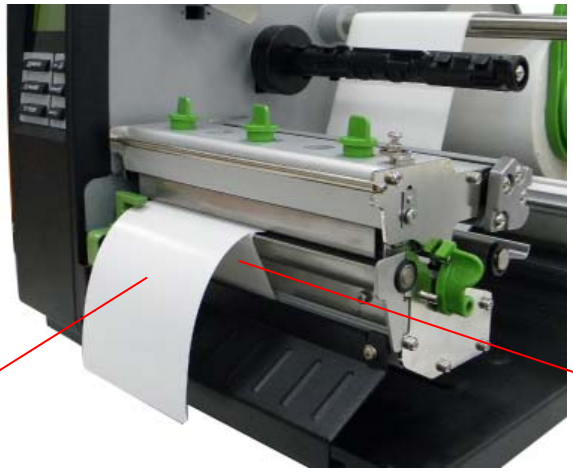


6. ラベルをペーパーコアに（タブで）留め、ライナーが適切に伸ばされるまでスピンドルを反時計回りに巻きます。



7. プリンタヘッド機構を閉じます。
8. ピールオフセンサーを排紙シュートに向けて移動します。

9. フロントディスプレイパネルを使ってプリンタ設定をピーラーモードに設定します。(3.1.1-1.4 章を参照してください)ピーリングは自動的に開始します。FEED（フィード）ボタンを押してテストします。

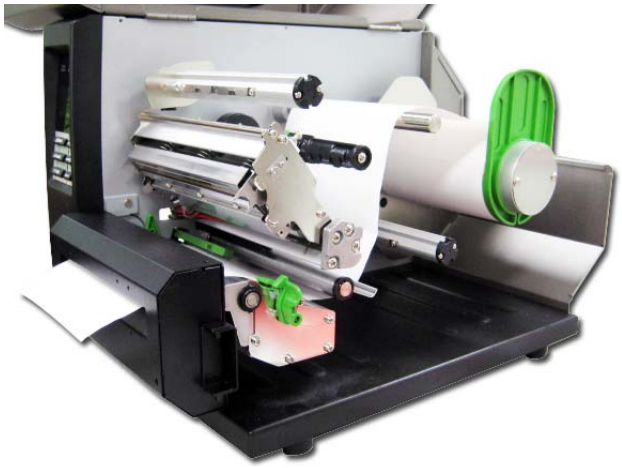


注記：

メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを較正してください。

2.6.4 カッターモードでのメディアの取り付け（オプション）

1. ラベルを取り付けます。（2.6.1 章を参照してください）
2. メディアをカッターペーパー開口部を通して送ります。



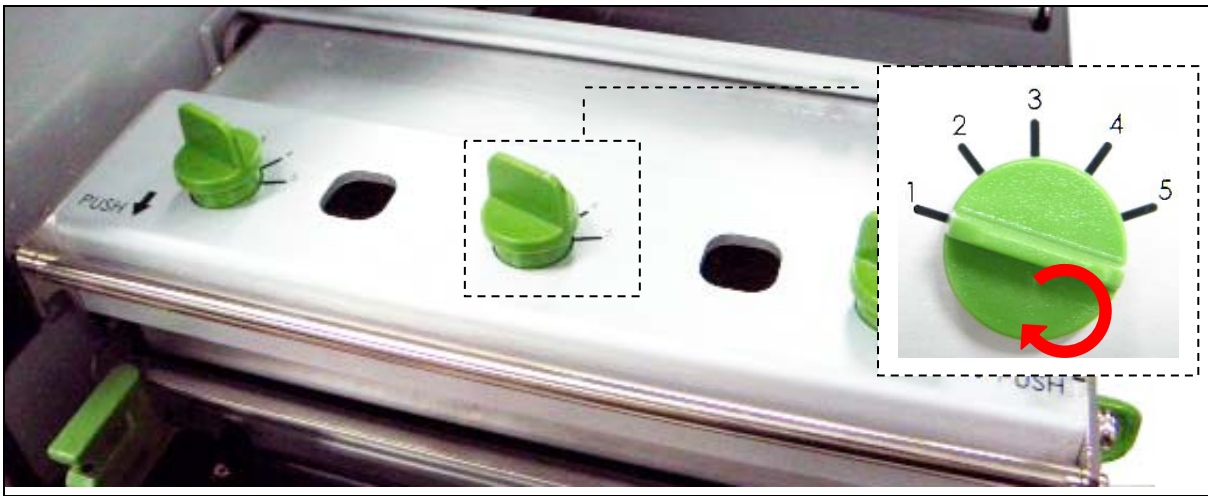
3. ラベルガイドをラベルの幅に合わせて調整します。
4. プリンタヘッドメカニズムを閉じ、留め金がしっかり嵌まっていることを確認します。

5. フロントディスプレイパネルを使ってプリンタ設定をカッターモードに設定します。FEED（フィード）ボタンを押してテストします。

注記：

メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを較正してください。

2.7 プリンタヘッド圧力調節ノブ



プリンタヘッド圧縮を調整する必要がある状況は 2 種類あります。

1. 厚いメディアに印刷する
   メディア厚が 0.19mm より厚い場合、良好な印刷画質を得るにはより高い圧力が必要となります。
2. エッジ位置合わせメディア
   メディア位置合わせは、気候の左端に設計されていて、プリンタヘッド、メディア、リボンの間での圧力バランスを保っています。

圧力の調節には 5 レベルあります。レベル 1 は最小レベルの圧力であり、レベル 5 は最大圧力となります。例えば、ラベル幅が 6 インチの場合、両方のプリンタヘッド圧力調節ノブを同レベルに調節します。ラベルの幅が 2 インチ以下の場合、左側の調節ノブを時計回りに回してプリンタヘッドの圧力を増加し、右側の圧力調節ノブは反時計回りに回してレベル1まで低下させます。左側のプリンタヘッド調節ノブ設定 が5(一番圧力が高い位置)の場合、中央のプリンタヘッド圧力を上げます。

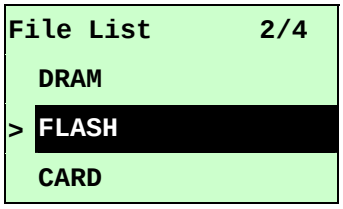
次の圧力ノブ調節推奨を参照してください。

6 インチ幅ラベル		
左インデックス	中央インデックス	右インデックス
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5

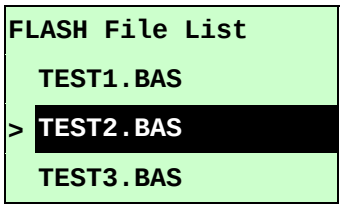
2 インチ幅ラベル		
左インデックス	中央インデックス	右インデックス
2	1	1
3	1	1
4	1	1
5	1	1
2	2	1
3	2	1
3	3	1
4	2	1
4	3	1
4	4	1
5	2	1
5	3	1
5	4	1
5	5	1

2.8 PS/2 インターフェイスとキーボードの併用

1. プリンタの電源を切ります。
2. キーボードの PS/2 インターフェースケーブルを、プリンタ背面の PS/2 コネクタに接続します。
3. プリンタの電源スイッチを入れます。
4. キーボードの **F1** キーを押すと、LCD には次のようなオプションが表示されます。



5. キーボードの アップ ↑ またはダウン ↓ キーを使って >カーソルを動かし、続いてキーボードの **Enter** キーを押してファイルを LCD ディスプレイに一覧します。
6. ファイルを選択して **Enter** キーを押し、.BAS ファイルを実行します。



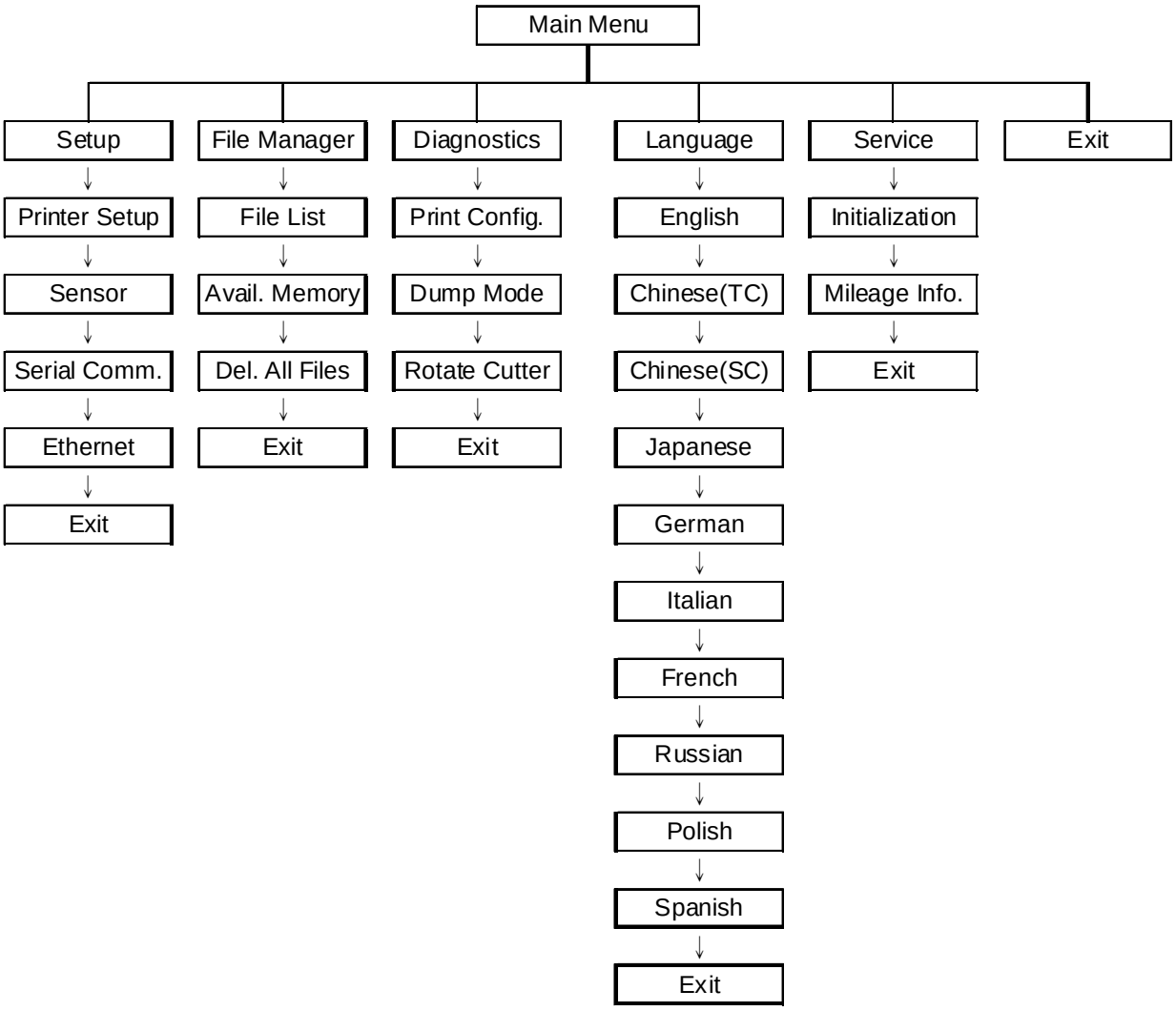
7. これで、スタンドアローンのアプリケーションに対してキーボードからデータを入力できるようになりました。

下記はキーボード操作の概要です。

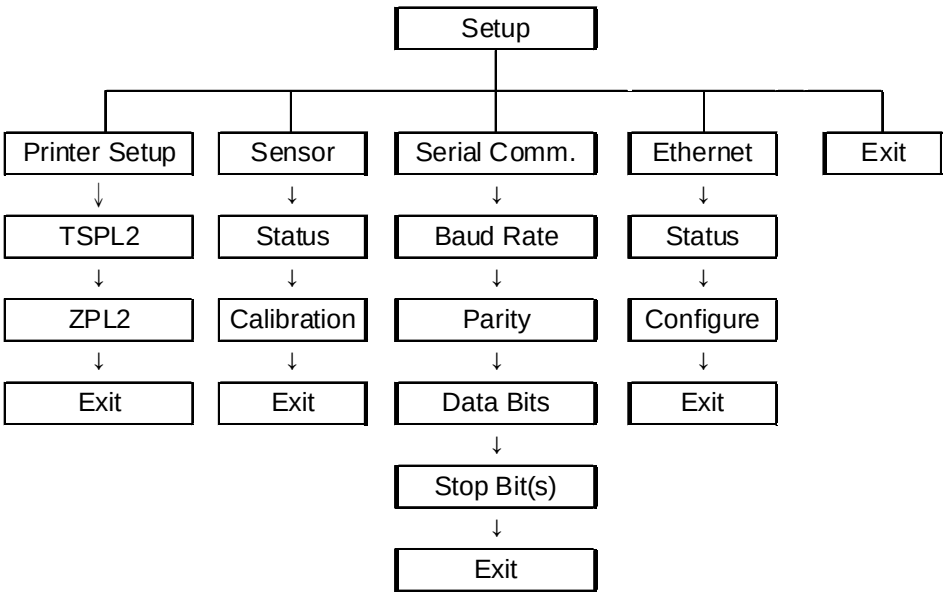
PC キーボードの **F1** キーを押すと、この機能が起動します。
アップ ↑ またはダウン ↓ キーを押してプリンタ LCD ディスプレイ上のカーソルをオプションまで移動します。
Esc キーを押すと前のメニューに戻ります。
Enter キーを押すとカーソルが置かれたオプションを入力/実行します。
Ctrl + **C** キーを押してプリンタを再起動し、Ready（準備完了）の状態に戻します。

3. 電源スイッチ

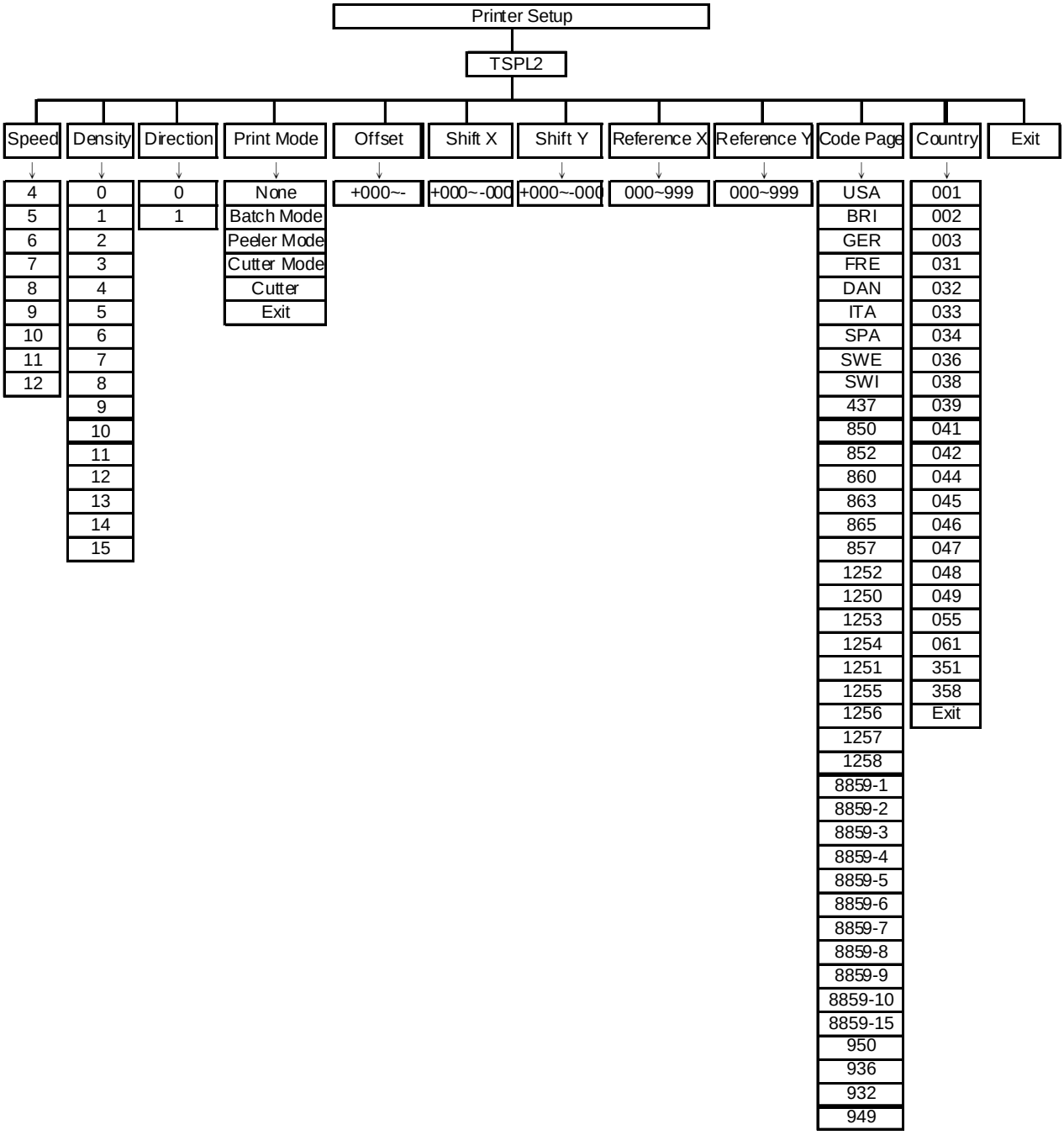
メインメニュー概要



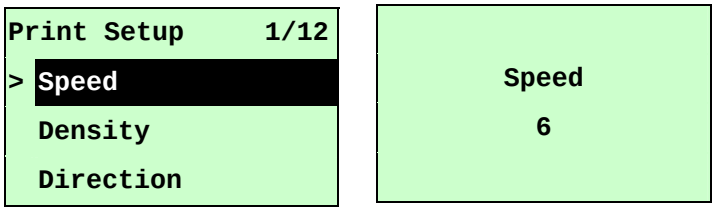
3.1 設定メニュー概要


Setup
Printer Setup
Sensor
Serial Comm.
Ethernet
Exit
TSPL2
Status
Baud Rate
Status
ZPL2
Calibration
Parity
Configure
Exit
Exit
Data Bits
Exit
Stop Bit(s)
Exit

3.1.1-1 プリンタ設定 (TSPL2)



3.1.1-1.1 速度:



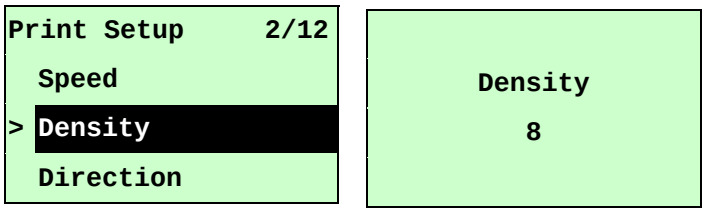
このオプションを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は 1ips ごとです。プリンタのデフォルト濃度は 6ips（203dpi）あるいは 4ips（300dpi）です。

UP ⊙ キーを押すと印刷速度が上がり、**DOWN** ⊙ を押すと印刷速度が低下します。

SELECTキーを押して、プリンタの設定を確定します。▤ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、「Use current printer settings（現在のプリンタ設定を使用）」オプションが選択されていない場合、ソフトウェアドライバが送出するSPEED(速度)コマンドがフロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-1.2 速度:

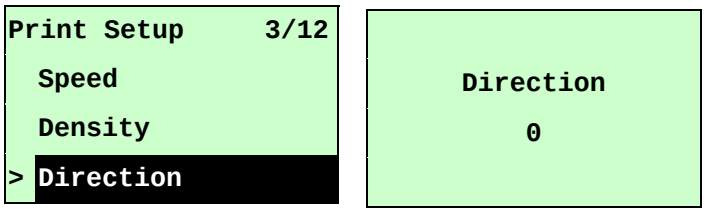


このオプションを使用して印刷濃度を設定します。使用可能な設定は０から15レベル、増加は１レベルごとです。プリンタのデフォルト濃度は８ですが、選択したメディア/リボンによって濃度を調整する必要があります。

UP ⊙ と **DOWN** ⊙ を押して印刷濃度を上げ/下げます。**SELECT**キーを押して、設定を確定します。▤ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、「Use current printer settings（現在のプリンタ設定を使用）」オプションが選択されていない場合、ソフトウェアドライバが送出するDENSITY(濃度)コマンドがフロントパネルからの設定より優先されることになります。

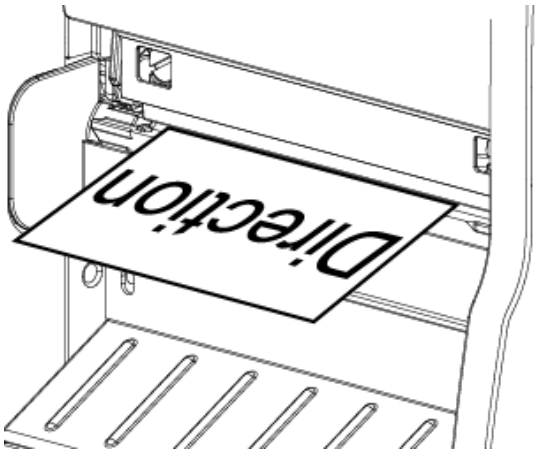
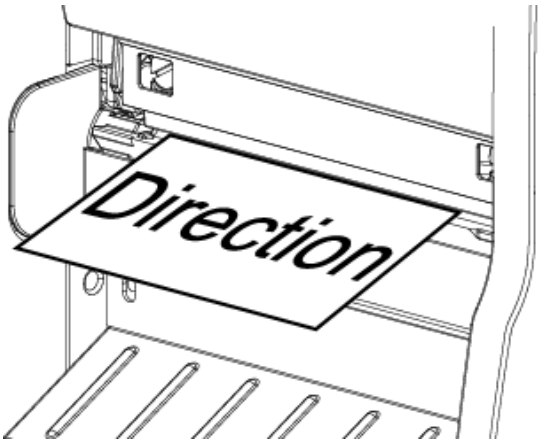
3.1.1-1.3 方向:



方向設定値は、1 あるいは 0 となります。このオプションを使用して、排紙方向を設定します。プリンタのデフォルトの排紙方向は DIRECTION（方向） 0 です。

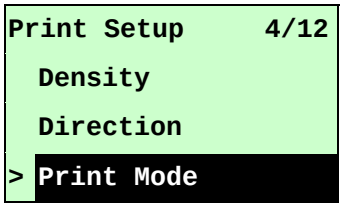
UP ⏶ キーを押すと方向が1に設定され、**DOWN** ⏷ を押すと0に設定されます。**SELECT**キーを押して設定を確定します。☰ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

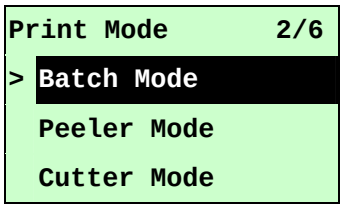
次の 2 つの図は、DIRECTION（方向）0 および 1 の印刷結果の参照となっています。

DIRECTION（方向）0	DIRECTION（方向）1
	

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出する DIRECTION（方向）0 コマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-1.4 印刷モード：（なし/バッチモード/ピーラーモード/カッターモード/カッターバッチ）





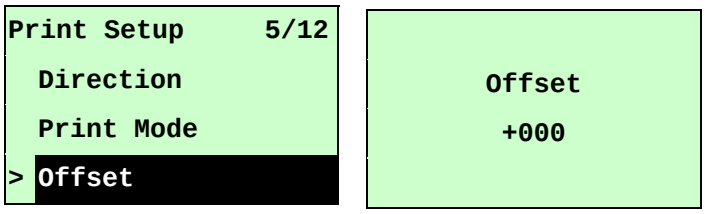
このオプションを使用して印刷モードを設定します。プリンタのデフォルト設定は、バッチモードです。このリストに入った際、「**>**」アイコンの右側にある印刷モードは現在のプリンタ設定を表しています。**UP** ⏶ および **DOWN** ⏷ を押して異なる印刷モードを選択し、**SELECT** ボタンを押して設定を確定します。☰ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

印刷モード	説明
なし	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。（テアオフモード）
バッチモード	画像が完全に印刷されると、ラベルギャップ/ブラックマークがテアエッジの位置にフィードされ、ちぎり取りが行われます。
ピーラーモード	ラベルピールオフモードを有効化します。

カッターモード:	カッターモードを有効化します。
カッターバッチ	印刷ジョブの終わりにメディアを一度だけ切ります。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

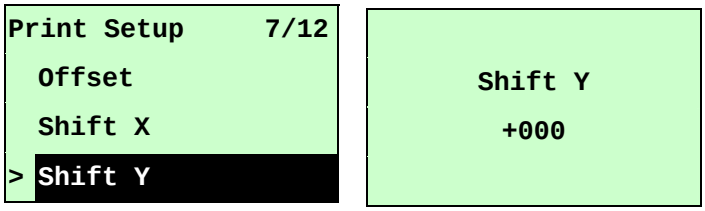
3.1.1-1.5 オフセット:



このオプションを使用してピーラーモードおよびカッターモード向けにメディアの停止位置を微調整します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「9/2」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト値は+000です。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出する OFFSET（オフセット）コマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

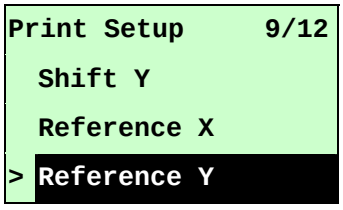
3.1.1-1.6 Shift（シフト） X および Shift（シフト） Y:

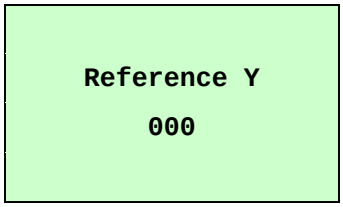


このオプションを使用して印刷位置を微調整します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト値は+000です。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、「Use current printer settings（現在のプリンタ設定を使用）」オプションが選択されている場合、ソフトウェアドライバが送出する SHIFT(シフト)コマンドがフロントパネルからの設定より優先されることはありません。

3.1.1-1.7 Reference (基準) X および Reference (基準) Y:

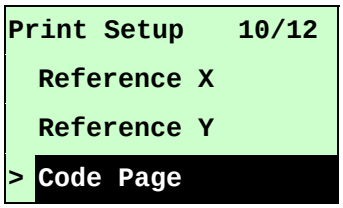


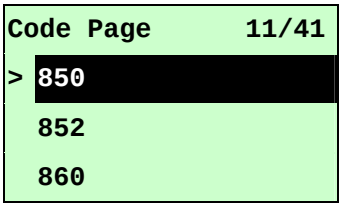


このオプションを使用してプリンタの座標点システムの原点を水平および垂直ともに設定します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。**MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト値は 000 です。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出する REFERENCE（基準）コマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-1.8 コードページ:





このオプションを使用して、国際文字セットのコードページを設定します。コードページについての詳細は、プログラミング説明書を参照してください。
コードページに入った際、「>」アイコンの右側にあるコードページは現在のプリンタ設定を表しています。
UP および**DOWN** を押してコードページを選択し、**SELECT** ボタンを押して設定を確定します。**MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

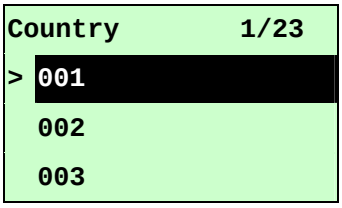
7 ビット		8 ビット	
コードページ名	国際文字セット	コードページ数	国際文字セット
USA	USA	437	米国
BRI	英国	850	複数言語
GER	ドイツ語	852	スラブ語
FRE	フランス語	860	ポルトガル語
DAN	デンマーク語	863	カナダ語/フランス語
ITA	イタリア語	865	北部フランス語

SPA	スペイン語		
SWE	スウェーデン語		
SWI	スイス語		

Windows コードページ (SBCS)		Windows コードページ (DBCS)	
コードページ数	**国際文字セット**	コードページ数	**国際文字セット**
1252	ラテン 1	950	繁体字中国語 Big5
1250	中欧	936	簡体字中国語 GBK
1253	ギリシャ語	932	日本語 Shift-JIS
1254	トルコ語	949	韓国語
1251	キリル語		
1255	ヘブライ語		
1256	アラビア語		
1257	バルト語派		
1258	ベトナム語		

ISO コードページ		ISO コードページ	
コードページ名	**国際文字セット**	コードページ数	**国際文字セット**
8859-1	ラテン 1	8859-7	ギリシャ語
8859-2	ラテン 2	8859-9	トルコ語
8859-3	ラテン 3	8859-10	ラテン 6
8859-4	バルト語派	8859-15	ラテン 9
8859-5	キリル語		

3.1.1-1.9 国:

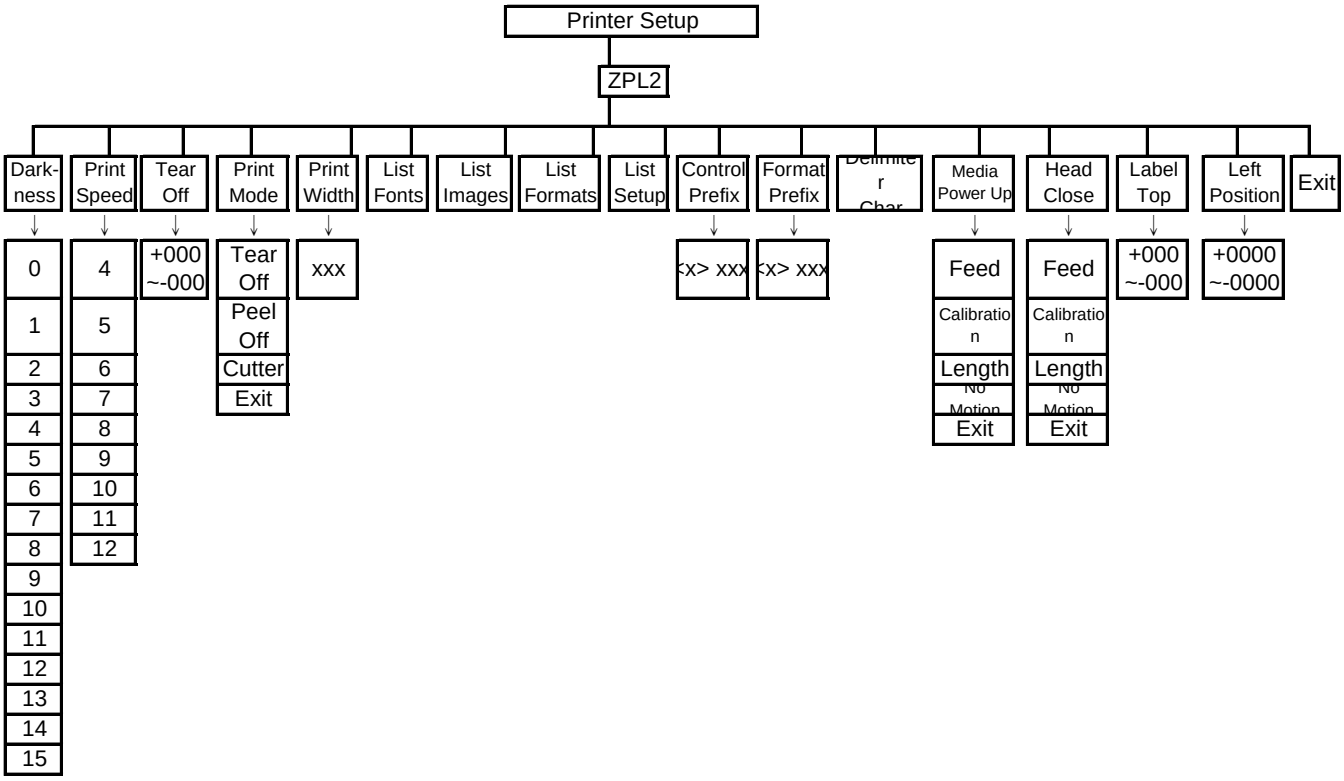


このオプションを使用して、LCD ディスプレイ用の国別コードを設定します。**UP** ⊙ および **DOWN** ⊙ ボタンを押して国別コードを選択し、**SELECT** ボタンを押して選択内容を確定しま

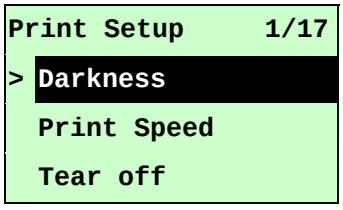
す。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にある国別コードは現在のプリンタ設定を表しています。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

コード	国	コード	国	コード	国	コード	国
001	USA	034	スペイン語（スペイン）	044	イギリス	055	ブラジル
002	カナダ語/フランス語	036	ハンガリー語	045	デンマーク語	061	英語（国際）
003	スペイン語（南米）	038	ユーゴスラビア語	046	スウェーデン語	351	ポルトガル語
031	オランダ語	039	イタリア語	047	ノルウェー語	358	フィンランド語
032	ベルギー語	041	スイス	048	ポーランド語		
033	フランス語（フランス語）	042	スロバキア語	049	ドイツ語		

3.1.1-2 プリンタ設定 (ZPL2)



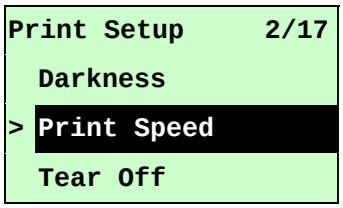
3.1.1-2.1 濃度:

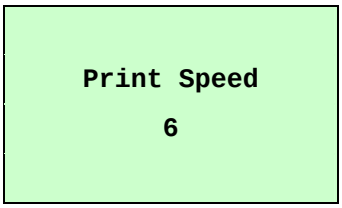


このオプションを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は 0～30 で、各ステップは 1 ずつとなります。プリンタのデフォルトの濃度は 16 です。
UP ▲ と**DOWN** ▼ を押して印刷濃度を上げ/下げます。**SELECT**キーを押して、設定を確定します。☰ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-2.2 印刷速度:

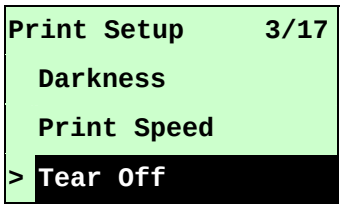


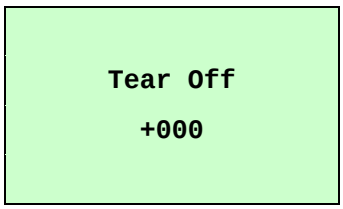


このオプションを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は 1ips ごとです。
UP ▲ キーを押すと印刷速度が上がり、**DOWN** ▼ を押すと印刷速度が低下します。
SELECTキーを押して、プリンタの設定を確定します。☰ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-2.3 テアオフ:



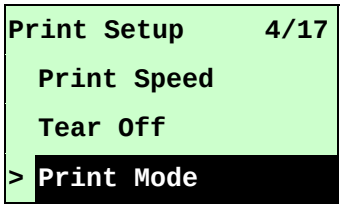


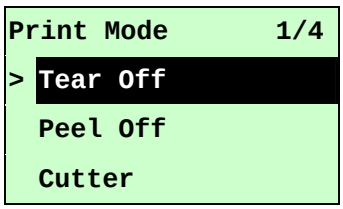
このオプションを使用してメディアの停止位置を微調整します。**DOWN** ▼ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ▲ ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」か

ら「9」の間からその値を設定します。**SELECT**ボタンを押して値を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト値は+000です。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-2.4 印刷モード：（テアオフ/ピールオフ/カッター）



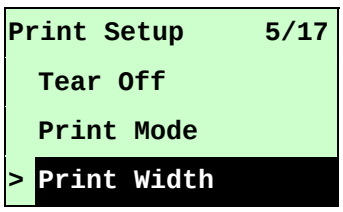


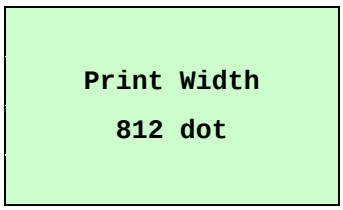
このオプションを使用して印刷モードを設定します。プリンタのデフォルト設定は、テアオフです。このリストに入った際、「**>**」アイコンの右側にある印刷モードは現在のプリンタ設定を表しています。**UP** ⊙ および**DOWN** ⊙ を押して異なる印刷モードを選択し、**SELECT**ボタンを押して設定を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

印刷モード	説明
テアオフモード	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。
ピールオフ	ラベルピールオフモードを有効化します。
カッター	ラベルカッターモードを有効化します。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-2.5 印刷幅：

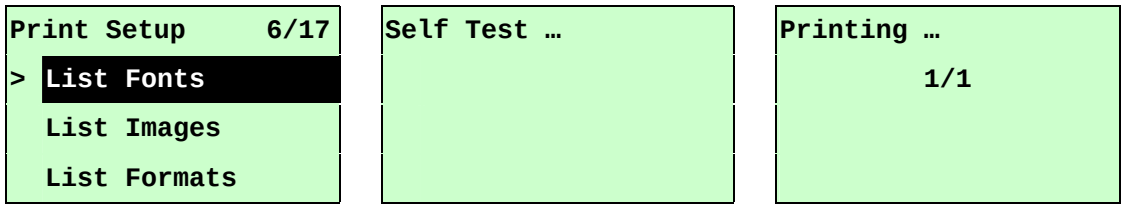




このオプションを使用して印刷幅を設定します。**DOWN** ⊙ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ⊙ ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。**SELECT**ボタンを押して値を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

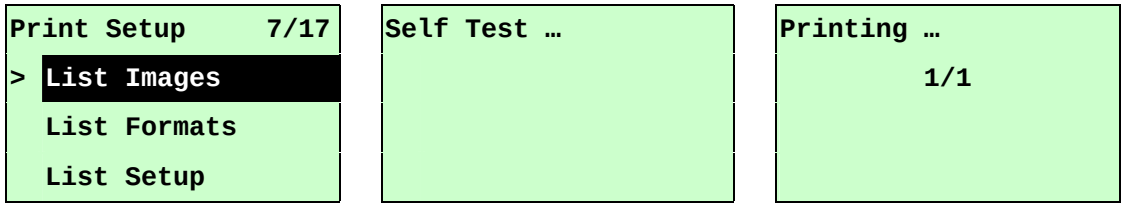
注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-2.6 フォント一覧:



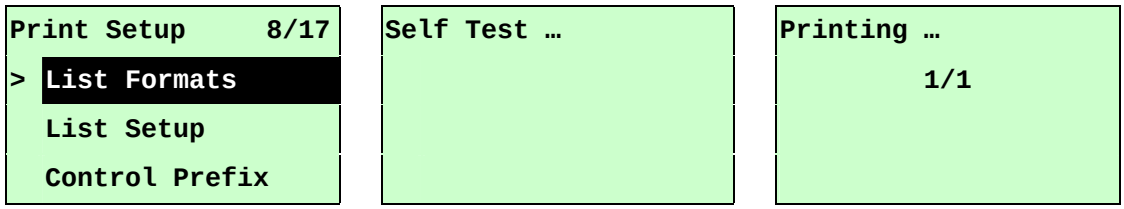
この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォントのリストをラベルに印刷します。フォントはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモリカードに保存されています。**SELECT** ボタンを押してリストを印刷します。

3.1.1-2.7 画像一覧:



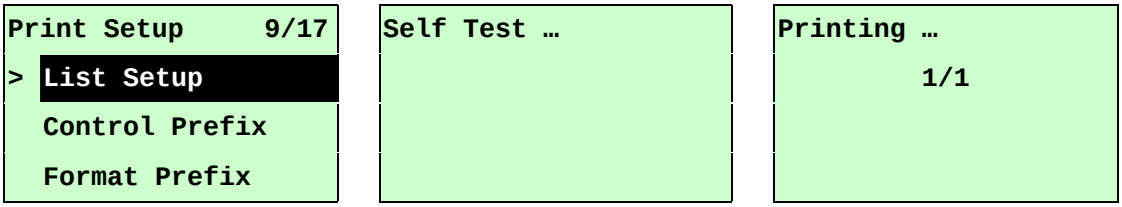
この機能を使用して、現在プリンタで使用できる画像のリストをラベルに印刷します。画像はプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモリカードに保存されています。**SELECT** ボタンを押してリストを印刷します。

3.1.1-2.8 フォーマット一覧:



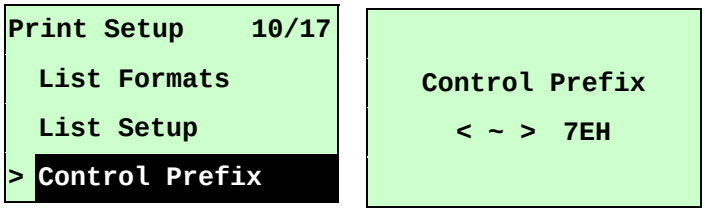
この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォーマットのリストをラベルに印刷します。フォーマットはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモリカードに保存されています。**SELECT** ボタンを押してリストを印刷します。

3.1.1-2.9 設定一覧:



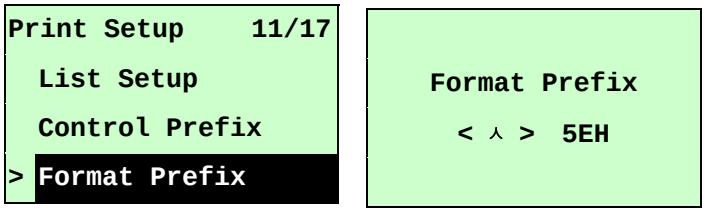
この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォーマットのリストをラベルに印刷します。
SELECTボタンを押してリストを印刷します。

3.1.1-2.10 コントロールプレフィックス:



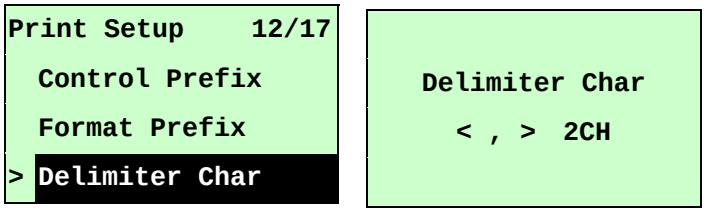
このオプションを使用してコントロールプレフィックス文字を設定します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「0」の間からその値を設定します。**SELECT**ボタンを押して値を確定します。
MENUキーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.1-2.11 フォーマットプレフィックス:



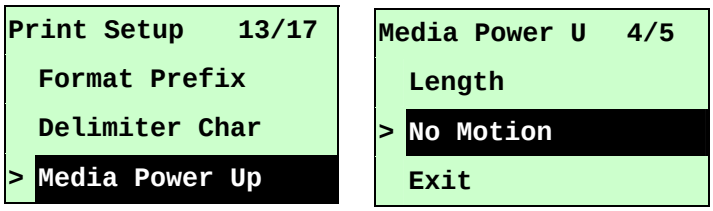
このオプションを使用してフォーマットプレフィックス文字を設定します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。**SELECT**ボタンを押して値を確定します。
MENUキーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.1-2.12 区切り文字:



このオプションを使用して区切り文字を設定します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「9/2」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

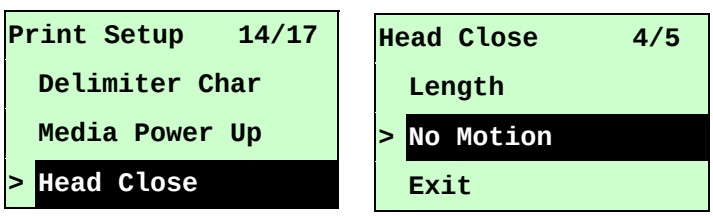
3.1.1-2.13 電源投入時メディア:



このオプションを使用してプリンタの電源をオンにした際のメディアのアクションを設定します。プリンタのデフォルト設定は、「アクションなし」です。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にある印刷モードは現在のプリンタ設定を表しています。**UP** および**DOWN** を押して異なる印刷モードを選択し、**SELECT** ボタンを押して設定を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

選択肢	説明
フィード	プリンタはラベルをひとつ進めます
較正	プリンタはセンサーのレベルを較正し、長さを決定してラベルをフィードします。
長さ	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。
アクションなし	プリンタはメディアを動かしません。

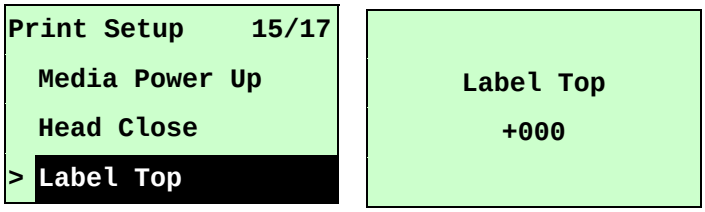
3.1.1-2.14 ヘッドクローズ:



このオプションを使用してプリンタのヘッドを閉じた際のメディアのアクションを設定します。プリンタのデフォルト設定は、「アクションなし」です。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にある印刷モードは現在のプリンタ設定を表しています。**UP** および**DOWN** を押して異なる印刷モードを選択し、**SELECT**ボタンを押して設定を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

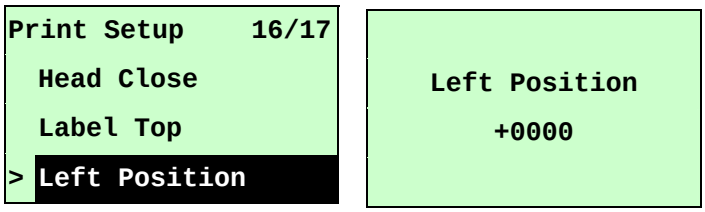
選択肢	説明
フィード	プリンタはラベルをひとつ進めます
較正	プリンタはセンサーのレベルを較正し、長さを決定してラベルをフィードします。
長さ	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。
アクションなし	プリンタはメディアを動かしません。

3.1.1-2.15 ラベルトップ:



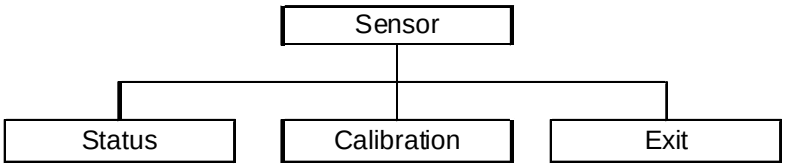
この機能を使用して、ラベルの垂直方向における印刷位置を調整します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「1/2」の間からその値を設定します。**SELECT**ボタンを押して値を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト値は+000、幅は-120から+120ドットです。

3.1.1-2.16 左位置:



この機能を使用して、ラベルの水平方向における印刷位置を調整します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「＋」から「－」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。**SELECT**ボタンを押して値を確定します。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト値は+0000、幅は-9999から+9999ドットです。

3.1.2 センサー



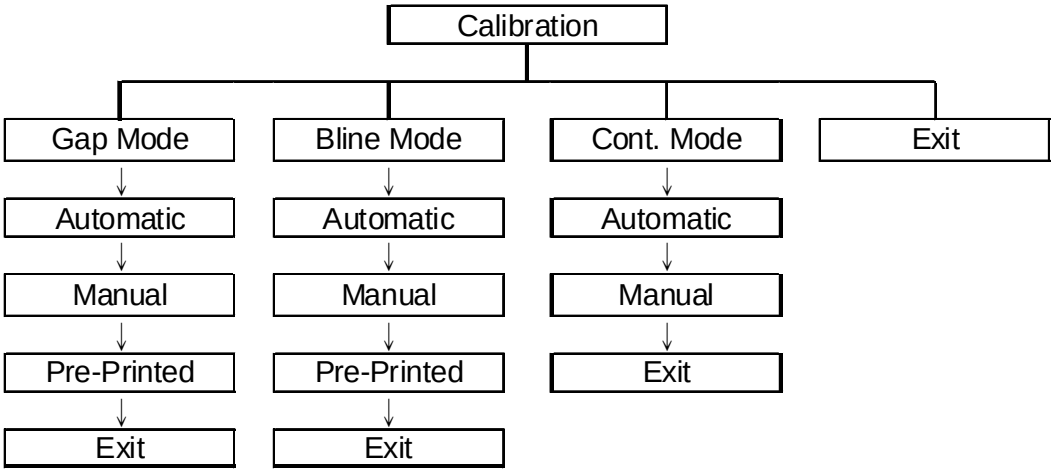
3.1.2.1 ステータス

プリンタのセンサーステータスを確認する際に使用する機能です。[Status（ステータス）]オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。

Paper Len.	812
Gap Size	24
Intensity	3
Ref. Level	512

3.1.2.2 較正

この機能を使用して、メディアセンサーのタイプをセットし、選択したセンサーを較正します。メディアを変更した際は、印刷の前にセンサーを較正することが推奨されます。



A. ギャップモード

Calibration 1/4
> Gap Mode
Bline Mode
Cont. Mode

Gap Mode 1/4
> Automatic
Manual
Pre-Printed

UP ⊙ および**DOWN** ⊙ ボタンを押してメディアタイプまでカーソルをスクロールし、**SELECT** ボタンを押してセンサー較正モードに入ります。

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出する GAP（ギャップ）あるいは BLINE（B ライン）コマンドが、フロントパネルからのセンサーの種類設定より優先されることになります。

A-1 自動

[Automatic (自動)]オプションに入ると、次のようなメッセージが表示され、プリンタは 2～3 ギャップのラベルをフィードしてセンサー感度を自動的に較正します。較正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。

Gap Mode
Automatic

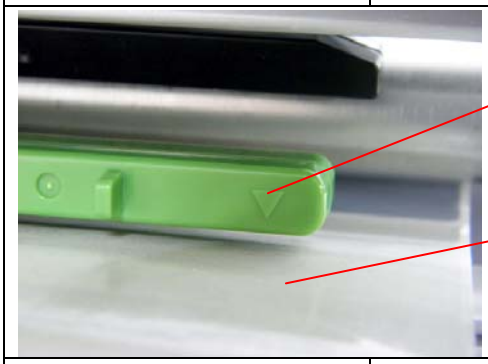
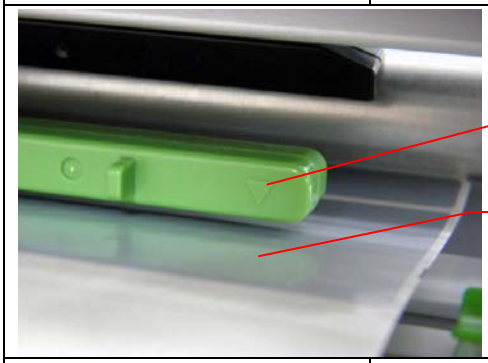
A-2 手動

「Automatic (自動)」センサー較正がメディアに適用できない場合は、「手動」機能を使用してギャップセンサーを手動で構成してください。

Gap Mode 2/4
Automatic
> Manual
Pre-Printed

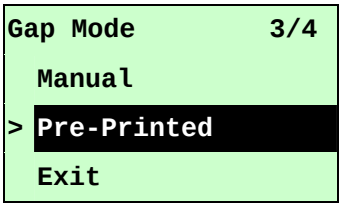
[Manual（手動）]オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

Paper Len. 00812 dot	1. **DOWN** ⊙ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ⊙ ボタンを押して「0」から「9」または「dot（ドット）/mm（ミリ）/inch（インチ）」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。

Gap Size 0024 dot	2. **DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「dot（ドット）/mm（ミリ）/inch（インチ）」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。
Gap Mode Scan Backing Intensity x Ref. Level xxx	3. プリンタヘッド機構を開け、ラベルの裏紙（ライナー）をメディアセンサーの下に配置します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。
	
Gap Mode Scan Paper Intensity x Ref. Level xxx	4. その後、ライナー付ラベルをメディアセンサーの下に配置します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。
	
Gap Mode Complete Intensity x Ref. Level xxx	5. ギャップセンサー較正が完了します。**SELECT** ボタンを押すと、LCD 画面は前のメニューに戻ります。

A-3 プレ印刷

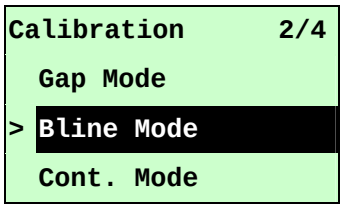
この機能をでは、センサー感度の自動較正の前に用紙長さおよびギャップサイズを設定することが必要です。これにより、プレ印刷メディアに対しセンサー感度をより正確に決定することができます。

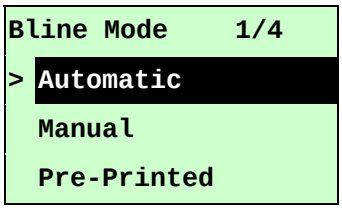


[Pre-Printed（プレ印刷）]オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

Paper Len. 00812 dot	1. **DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「dot（ドット）/mm（ミリ）/inch（インチ）」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。
Gap Siz 0024 dot	2. **DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「dot（ドット）/mm（ミリ）/inch（インチ）」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。
Gap Mode Pre-Printed	3. その後、プリンタはラベルをフィードしてセンサー感度を自動的に較正します。較正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。

B. Bラインモード

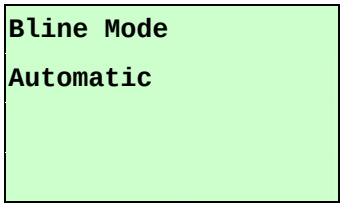




UP ▲ および**DOWN** ▼ ボタンを押してカーソルをセンサーの種類にスクロールします。**SELECT**ボタンを押してブラックマークセンサー較正モードを入力します。

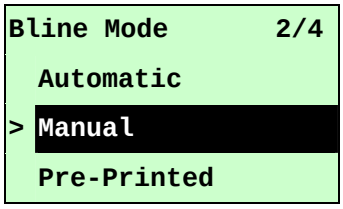
B-1 自動

[Automatic (自動)]オプションに入ると、次のようなメッセージが表示され、プリンタはブラックマークラベルをフィードしてセンサー感度を自動的に較正します。較正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。



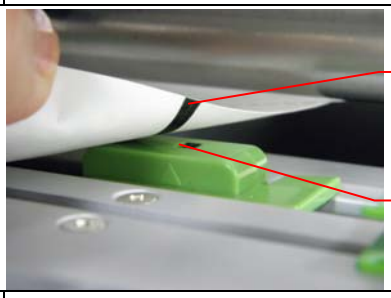
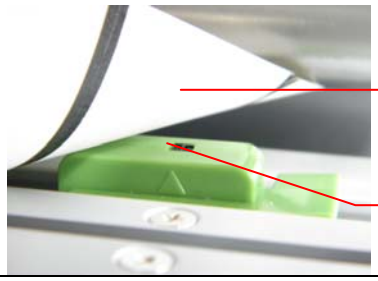
B-2 手動

「Automatic (自動)」センサー較正がメディアに適用できない場合は、「手動」機能を使用して B ラインセンサーを手動で構成してください。



[Manual(手動)]オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

Paper Len. 00151 dot	1. **DOWN** ▼ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ▲ ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。**SELECT**ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。
Bline Size 0024 dot	2. **DOWN** ▼ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ▲ ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。**SELECT**ボタンを押して B ラインの長さの設定を確定します。

Bline Mode Scan Mark Intensity x Ref. Level xxx	3. プリンタヘッド機構を開け、ブラックマークをメディアセンサーの下に配置します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。
	ブラックマークブ ブラック マークセンサー
Bline Mode Scan Paper Intensity x Ref. Level xxx	4. その後、ブラックセンサーのないラベルをメディアセンサーの下に配置します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。
	ブラックマークの ないラベル ブラック マークセンサー
注記: 通常、マークの「Ref. Level（基準レベル）」の値は用紙よりも 128 以上大きくなります。メディアセンサーがこのように感知しない場合、**UP** ▲ および**DOWN** ▼ を押して手動で強度をそれ以上の値にする必要があります。	
Bline Mode Complete Intensity x Ref. Level xxx	5. B ラインセンサー較正が完了します。**SELECT** ボタンを押すと、LCD 画面は前のメニューに戻ります。

B-3 プレ印刷

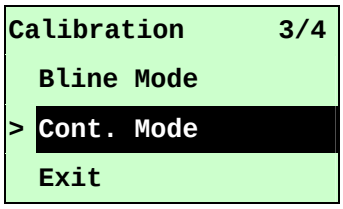
この機能をでは、センサー感度の自動較正の前に用紙長さおよびギャップサイズを設定することが必要です。これにより、プレ印刷メディアに対しセンサー感度をより正確に決定することができます。

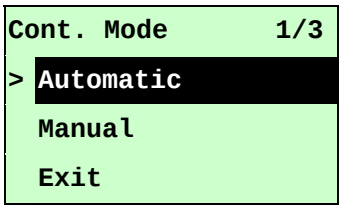
```
Bline Mode        3/4
  Manual
> Pre-Printed
  Exit
```

[Pre-Printed（プレ印刷）]オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

Paper Len. **00812 dot**	1. **DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「dot（ドット）/mm（ミリ）/inch（インチ）」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。
Bline Size **0024 dot**	2. **DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「dot（ドット）/mm（ミリ）/inch（インチ）」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して B ラインの長さの設定を確定します。
Bline Mode **Pre-Printed**	3. その後、プリンタはラベルをフィードしてセンサー感度を自動的に較正します。較正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。

C. 連続モード

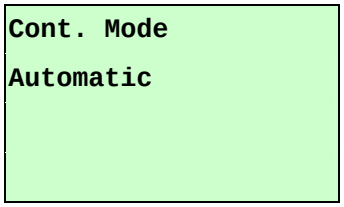




UP ⊙ および**DOWN** ⊙ ボタンを押してカーソルをセンサーの種類にスクロールします。**SELECT** ボタンを押してブラックマークセンサー較正モードを入力します。

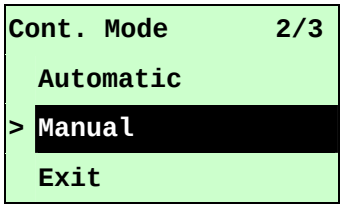
C-1 自動

[Automatic (自動)]オプションに入ると、次のようなメッセージが表示され、プリンタはセンサー感度を自動的に較正します。較正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。

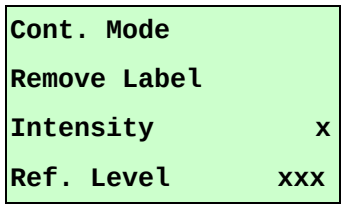
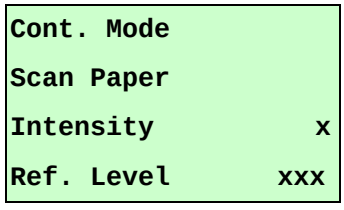


C-2 手動

「Automatic (自動)」センサー較正がメディアに適用できない場合は、「手動」機能を使用しセンサーを手動で構成してください。

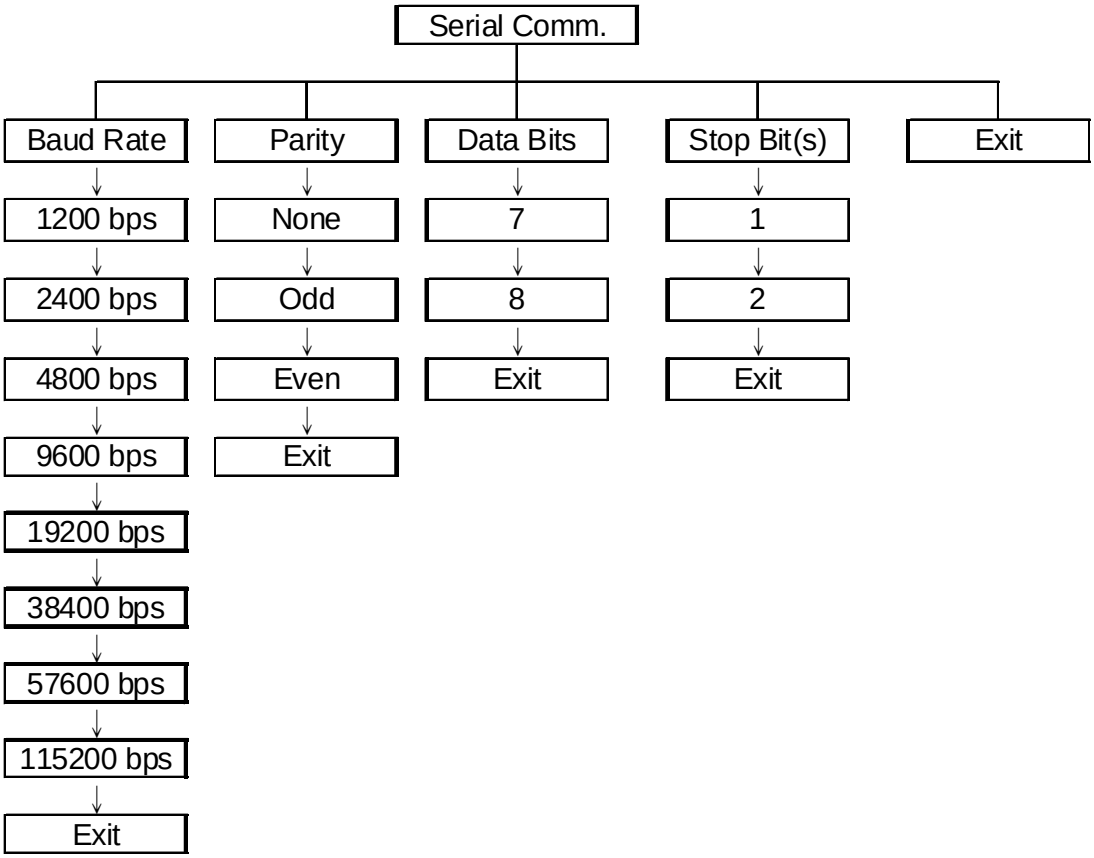


[Manual(手動)]オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

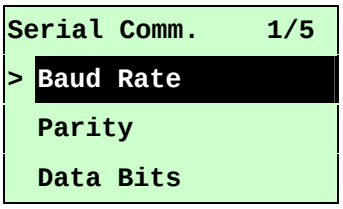
	1. 連続ラベルを取り除いてください。 **SELECT** ボタンを押して値を確定します。
	2. その後、連続ラベルをメディアセンサーの下に配置します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。

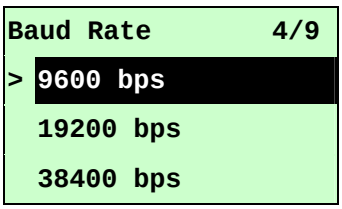
Cont. Mode Complete Intensity x Ref. Level xxx	3. センサー較正が完了します。**SELECT**ボタンを押すと、LCD 画面は前のメニューに戻ります。

3.1.3 シリアル通信



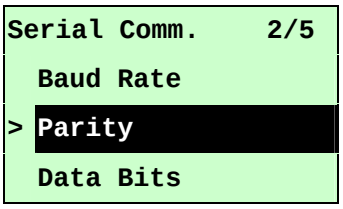
3.1.3.1 ボーレート

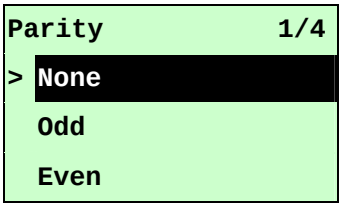




このオプションを使用して RS-232 ボーレートを設定します。デフォルト値は 9600bps です。および**UP** ▲ あるいは**DOWN** ▼ ボタンを押してボーレートを選択し、**SELECT**ボタンを押して選択内容を確定します。このリストに入った際、「**>**」アイコンの右側にあるボーレートの値は現在のプリンタ設定を表しています。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

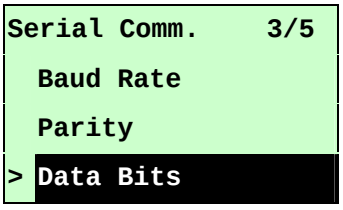
3.1.3.2 パリティ

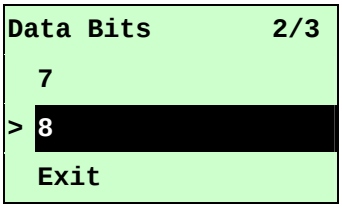




このオプションを使用して RS-232 パリティを設定します。デフォルト値は「なし」です。**UP** ▲ および**DOWN** ▼ ボタンを押してパリティを選択し、**SELECT**ボタンを押して選択内容を確定します。このリストに入った際、「**>**」アイコンの右側にあるパリティは現在のプリンタ設定を表しています。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

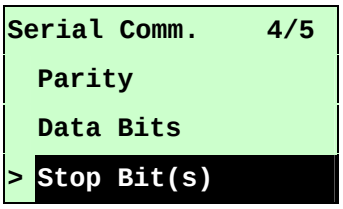
3.1.3.3 データビット

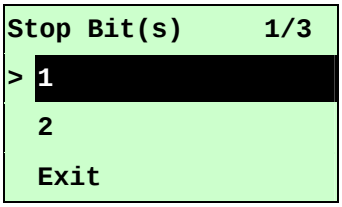




このオプションを使用して RS-232 データビットを設定します。デフォルト値は「8」データビットです。**UP** ▲ および**DOWN** ▼ ボタンを押してデータビットを選択し、**SELECT**ボタンを押して選択内容を確定します。このリストに入った際、「**>**」アイコンの右側にあるデータビットは現在のプリンタ設定を表しています。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.3.4 ストップビット:



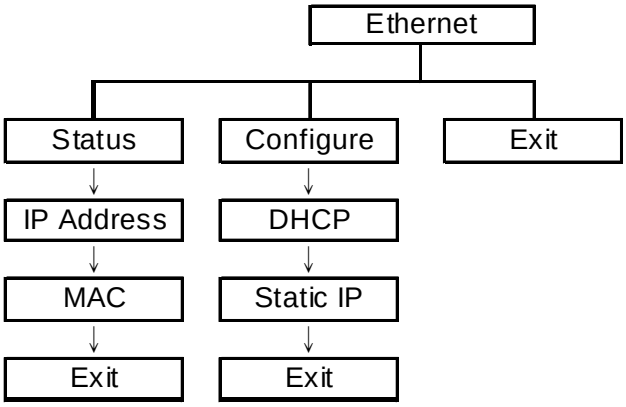


このオプションを使用して RS-232 ストップビットを設定します。デフォルト値は「1」ストップビットです。**UP** ▲ および**DOWN** ▼ ボタンを押してストップビットを選択し、**SELECT** ボタンを押して選択内容を確定します。このリストに入った際、「**>**」アイコンの右側にあるオプションは現在のプリンタ設定を表しています。☰ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.4 イーサネット

このメニューを使用して、内蔵イーサネット構成を設定、プリンタのイーサネットモジュールステータスの確認、またイーサネットモジュールのリセットを行うことができます。*イーサネットカードが取り付けられている場合、LCD ディスプレイでのこの機能のご利用が可能です。

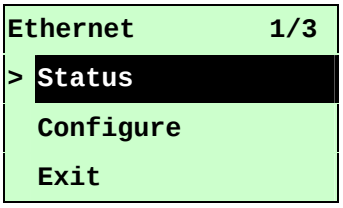
UP ⊙ および**DOWN** ⊙ ボタンを押してオプションを選択し、**SELECT** ボタンを押してオプションを確定します。▤ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

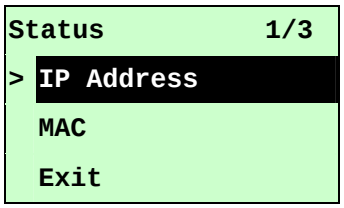


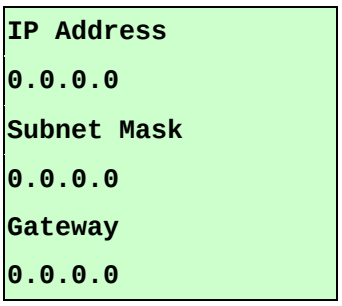
3.1.4.1 ステータス: (IP アドレス / MAC)

このメニューを使用してイーサネット設定ステータスを確認することができます。

3.1.4.1.1 IP アドレス

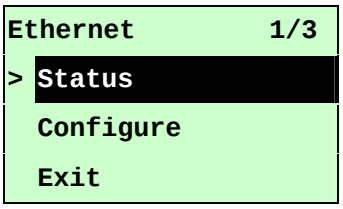


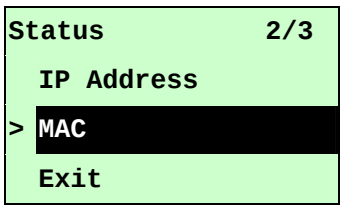


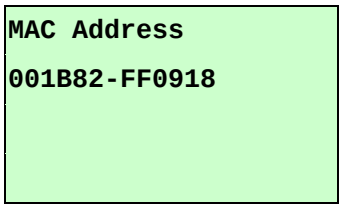


IP アドレス情報が LCD ディスプレイに表示されます。**SELECT** あるいは▤ **MENU**ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

3.1.4.1.2 MAC





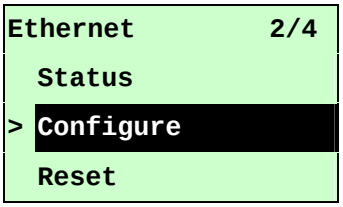


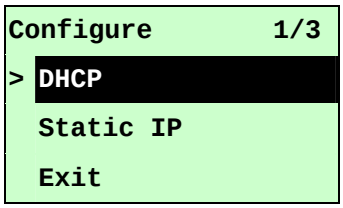
MAC アドレス情報が LCD ディスプレイに表示されます。**SELECT**あるいは **MENU**ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

3.1.4.2 構成: (DHCP / スタティック IP)

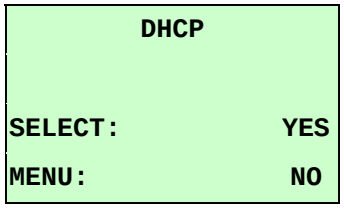
このメニューを使用してプリンタの DHCP およびスタティック IP を設定します。

3.1.4.2.1 DHCP





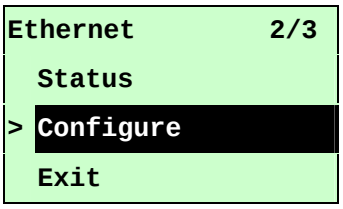
UP ▲ および**DOWN** ▼ ボタンを押して DHCP 機能を選択し、**SELECT**を押してメニューに入ります。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

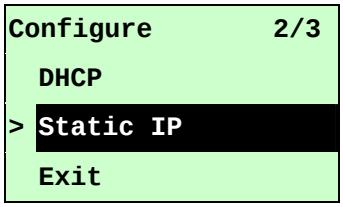


SELECTボタンを押すとプリンタは DHCP を設定し、設定をリセットするため再起動します。
MENUボタンを押すと前のメニューに戻ります。

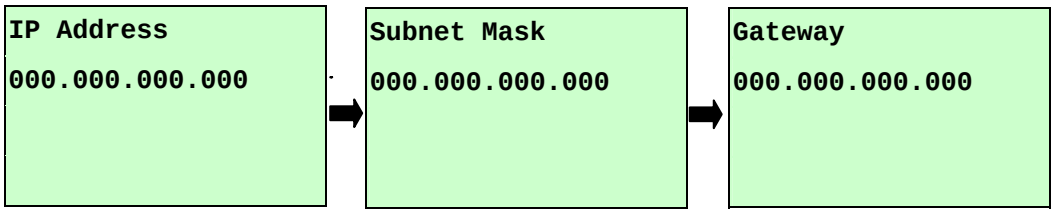
3.1.4.2.2 スタティック IP

このメニューを使用してプリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

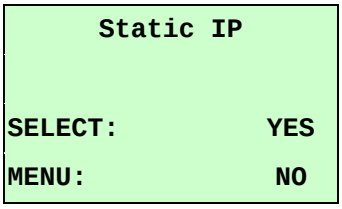




UP ▲ および**DOWN** ▼ ボタンを押してオプションを選択し、**SELECT**ボタンを押してオプションを確定します。☰ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。



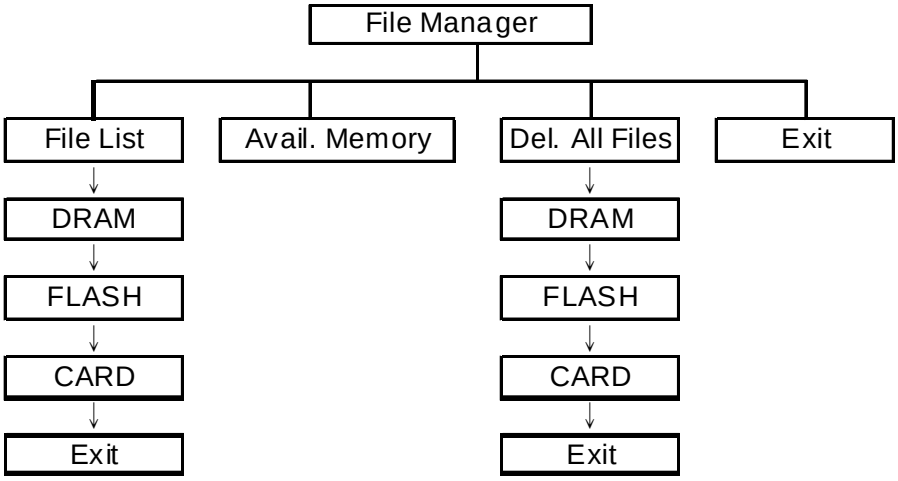
DOWN ▼ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ▲ ボタンを押して「0」から「9」の間でその値をスクロールします。**SELECT**ボタンを押して次の設定に移動します。



SELECTボタンを押すとプリンタは再起動して、イーサネットモジュール設定をリセットします。設定をキャンセルするには☰ **MENU**キーを押します。

3.2 ファイルマネージャ

この機能を使用して、現在プリンタで使用できるメモリおよびファイルリストを確認します。

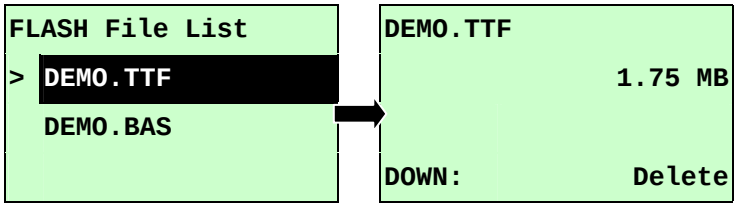


3.2.1 ファイルリスト

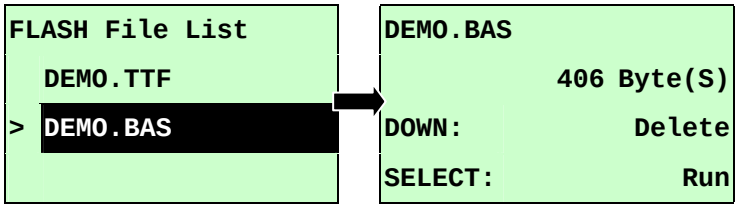
このメニューを使用して、プリンタ DRAM/Flash/カードメモリに保存されたファイルを表示、削除、実行(.BAS)することができます。

ファイルを表示するには:

ファイルを削除するには: 手順に従い、**DOWN** ボタンを押します。

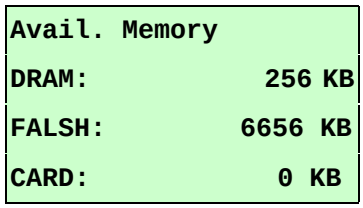


ファイル(.BAS)を実行するには: 手順に従い、**SELECT** ボタンを押します。



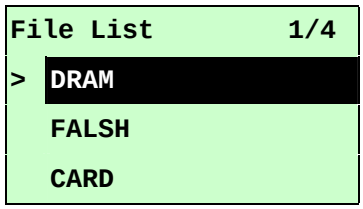
3.2.2 利用可能な メモリ

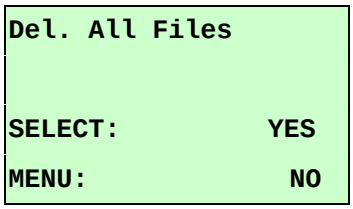
このメニューを使用してメモリの空きスペースを表示します。



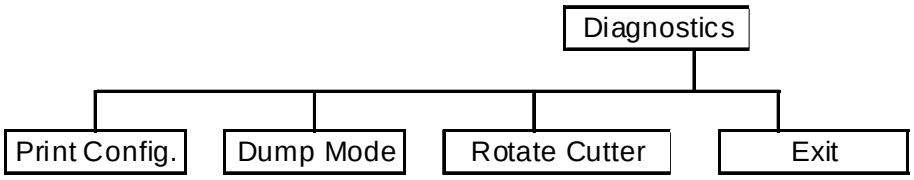
3.2.3 すべてのファイルを削除

このメニューを使用してすべてのファイルを削除します。**SELECT**ボタンを押してデバイス内のすべてのファイルを削除します。ファイルの削除をキャンセルするには **MENU**キーを押して前のメニューに戻ります。



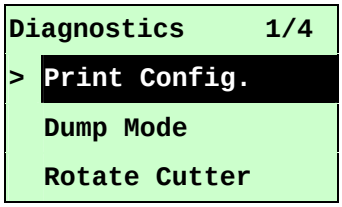


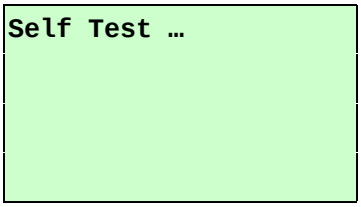
3.3 診断

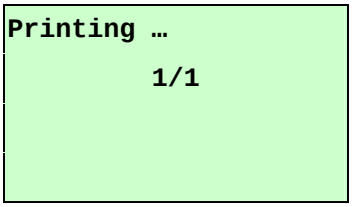


3.3.1 印刷構成

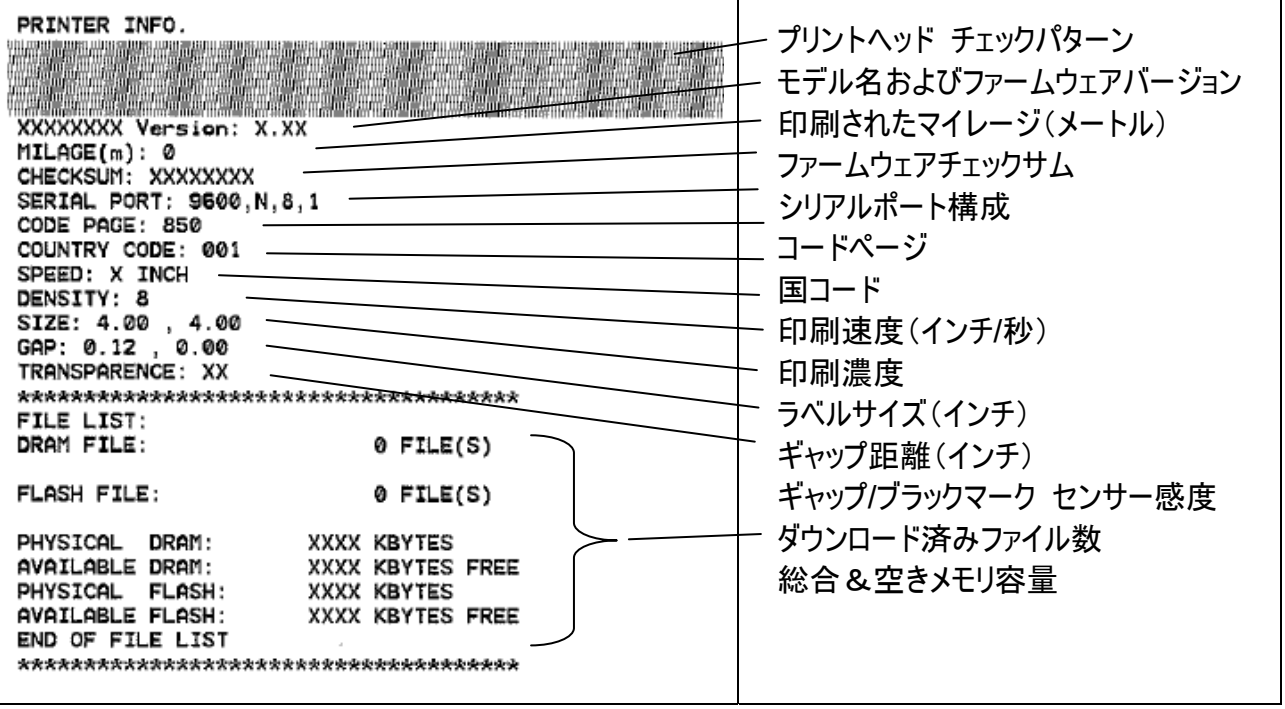
この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォーマットのリストをラベルに印刷します。構成印刷にはプリンタヘッドテストパターンが印刷され、プリンタヘッドのヒーター部位にドットの破損があるかを確認する役に立ちます。





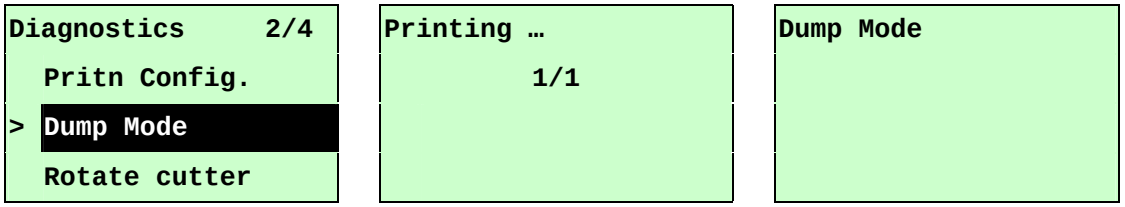


セルフテスト印刷



3.3.2 ダンプモード

通信ポートからデータを取り入れ、プリンタが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは、すべての文字が次のように 2 列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する 16 進値です。これにより、ユーザーやエンジニアはプログラムを検証しデバッグできるようになります。

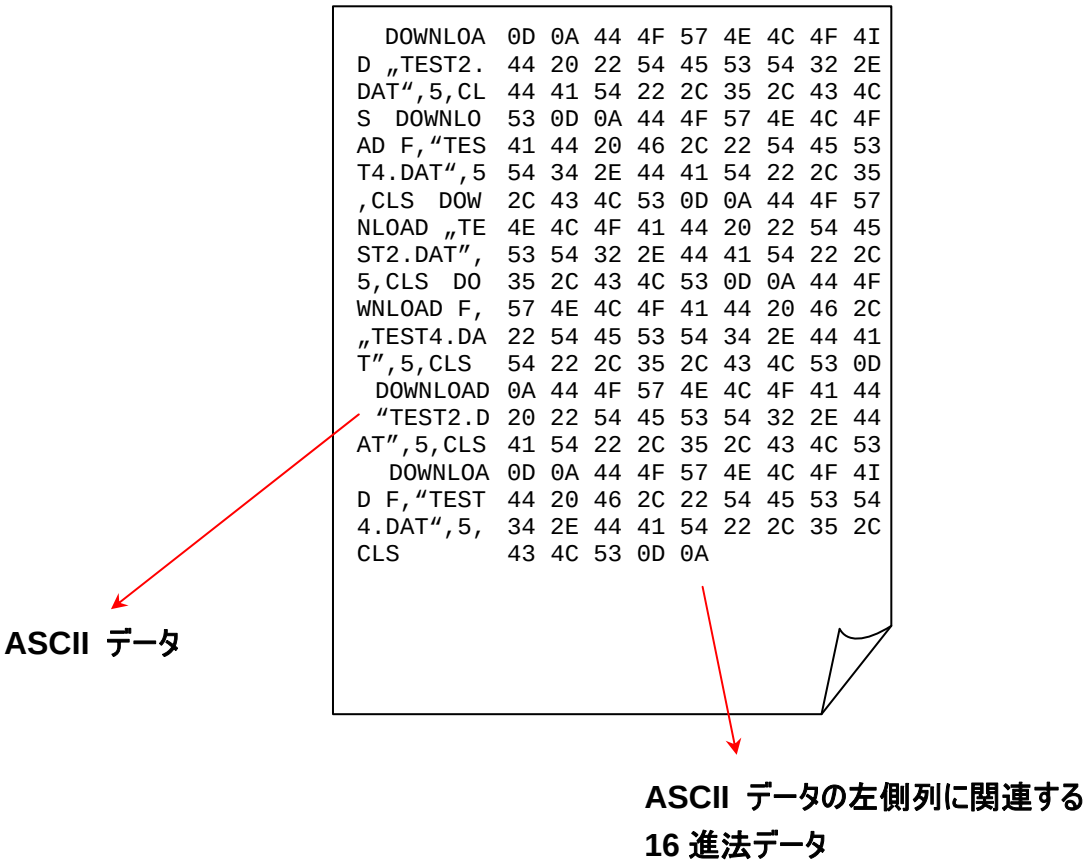


注記：

1. ダンプモードは幅 4 インチの用紙幅を必要とします。

2. 通常印刷でプリンタを再開するには、電源をオフオンにします。

3. FEED (フィード) ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

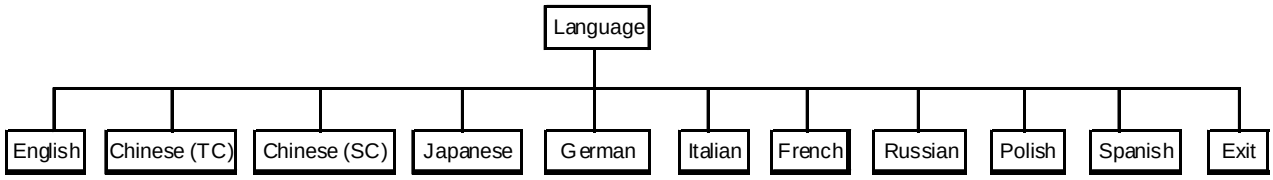


3.3.3 回転カッター

カッター内で用紙が詰まった場合に、この機能によりカッター刃を前方あるいは後方に回転させ、詰まった紙を容易に取り除き易くします。

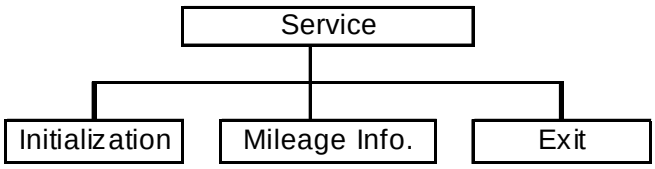
Diagnostics 3/4	UP: Fwd.
Print Config.	DOWN: Rev.
Dump Mode	
> Rotate Cutter	MENU: Exit

3.4 言語



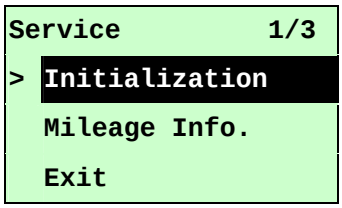
このオプションを使用して LCD ディスプレイの言語を設定します。
UP ⊙ および**DOWN** ⊙ ボタンを押して希望の言語までカーソルを移動し、**SELECT**ボタンを押してオプションを確定します。▤ **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト言語設定は英語です。

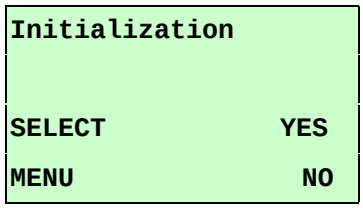
3.5 サービス

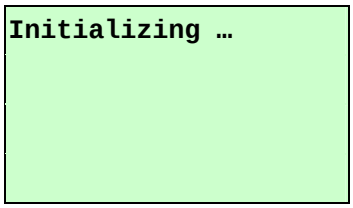


この機能を使用してプリンタ設定を初期設定に戻し、プリンタマイレージ情報を表示します。

3.5.1 初期化







プリンタを初期化すると、プリンタ設定が下記のように初期設定に戻されます。

注記:

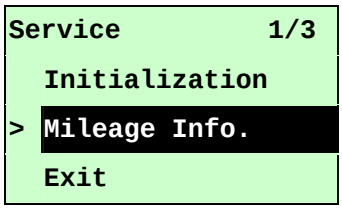
プリンタ初期化が完了した後は、印刷前にギャップあるいはブラックマークセンサーを較正してください。

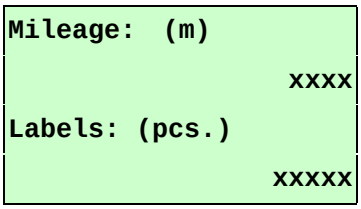
パラメータ	デフォルト設定
速度	TTP-268M: 6 IPS (152.4 mm/秒) TTP-366M: 4 IPS (101.6 mm/秒)
濃度	8
ラベル幅	152.4mm (6.00")
ラベル高	101.6mm (4.00")
センサーの種類	ギャップセンサー
ギャップ設定	3.0mm (0.12")
印刷方向	0
基準点	0,0 (左上隅)
オフセット	0
印刷モード	バッチモード
シリアルポート設定	9600 bps、パリティなし、8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリを消去	いいえ
Shift(シフト) X	0
Shift(シフト) Y	0

ギャップセンサー感度	3（リセットされます。ギャップの再較正が必要）
B ラインセンサー感度	2（リセットされます。ギャップの再較正が必要）
言語	英語
IP アドレス	DHCP

3.5.2 マイレージ情報

このオプションを使用して印刷したマイレージを確認することができます。（メートルで表示）



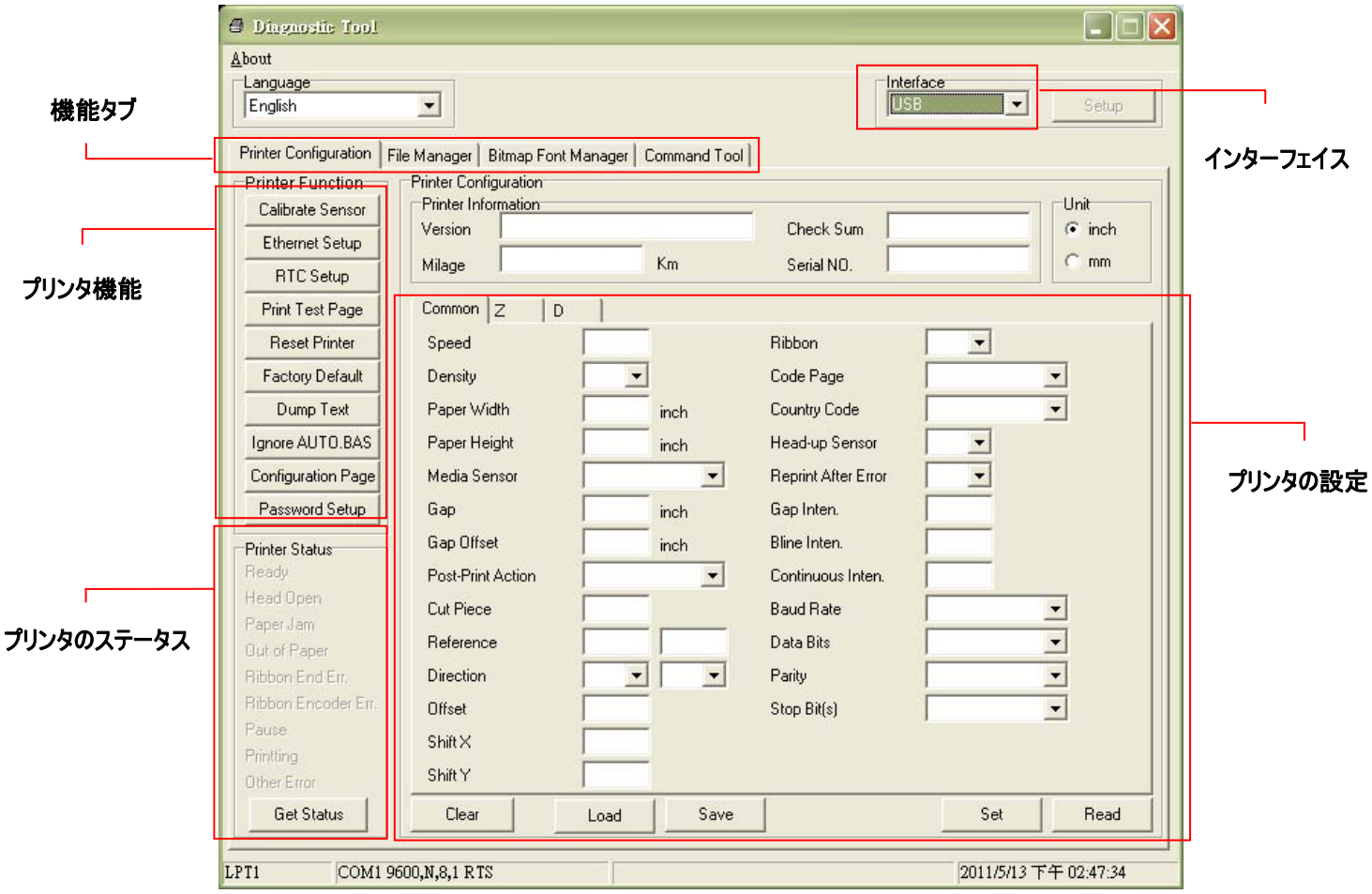


4. 診断ツール

TSC の診断ユーティリティは、ユーザーがプリンタの設定やステータスの検索、プリンタ設定の変更、グラフィックやフォント、ファームウェアのダウンロード、プリンタのビットマップフォントの作成、追加のコマンドのプリンタへの送信などを実行できる機能をまとめた統合ツールです。この強力なツールにより、ユーザーはプリンタのステータスや設定を瞬時に確認できるため、問題点のトラブルシューティングが容易になります。

4.1 診断ツールの開始

1. 診断ツールアイコンをダブルクリックすると、 DiagTool.exe ソフトウェアが起動します。
2. 診断ユーティリティには 4 つの機能（プリンタ構成、ファイルマネージャー、ビットマップフォントマネージャー、コマンドツール）が含まれます。



4.2 プリンタ機能(センサーの較正、イーサネット設定、RTC 設定など……)

1. バーコードプリンタに接続された PC インターフェイスを選択します。
2. 「Function (機能)」ボタンをクリックして設定します。
3. プリンタ機能グループの詳細機能は以下のとおりです。

機能	説明
センサーの較正	Printer Setup(プリンタの設定)グループメディアセンサー欄に指定されたセンサーを較正します
イーサネットの設定	IP アドレス、サブネットマスク、オンボードのイーサネット用ゲートウェイを設定します
RTC タイム	プリンタのリアルタイムクロックと PC を同期します
テストページの印刷	テストページを印刷します
プリンタのリセット	プリンタを再起動します
工場出荷時のデフォルト	プリンタを初期化し、設定を工場出荷時のデフォルト値に復元します。
テキストのダンプ	プリンタダンプモードを起動します。
AUTO.BAS の無視	ダウンロードされた AUTO.BAS プログラムを無視します
構成ページ	プリンタ構成を印刷します
パスワード設定	設定を保護するためにパスワードを設定

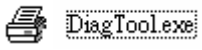
注記:

診断ツールについての詳細は、CD ディスク¥ユーティリティディレクトリの診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。

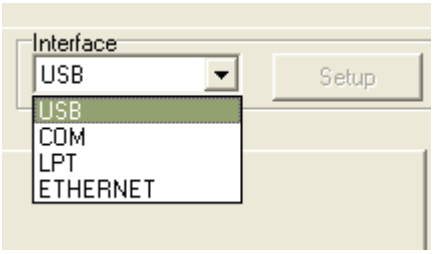
5 診断ユーティリティによるイーサネットの設定

（診断ユーティリティは CD ディスクのユーティリティ ディレクトリに含まれています。[診断ツールを使って、RS-232、USB とイーサネットインターフェイスによりイーサネットを設定することができます。以下は、これら 3 種類のインターフェイスによるイーサネットの構成方法の説明です。

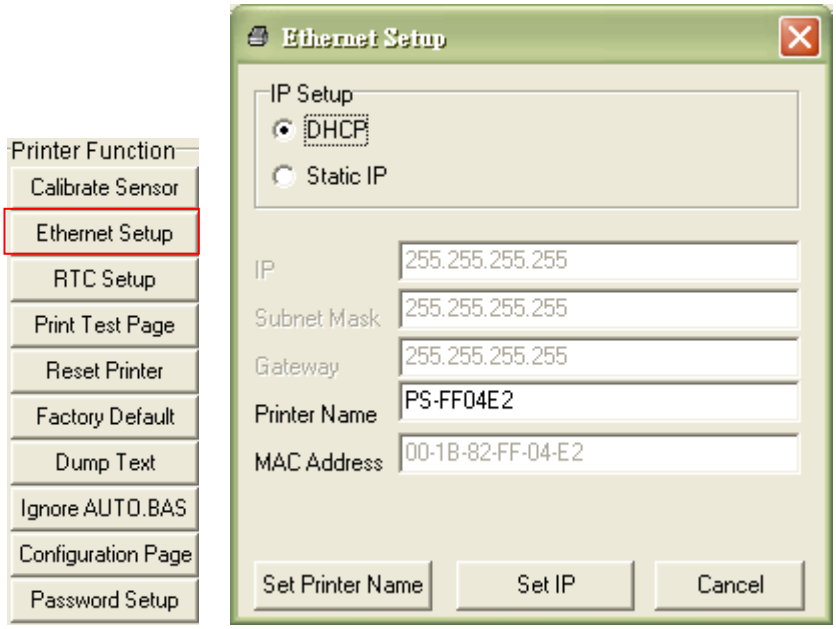
5.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. 

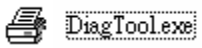
アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
注記：このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作します。
4. 診断ユーティリティのデフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。



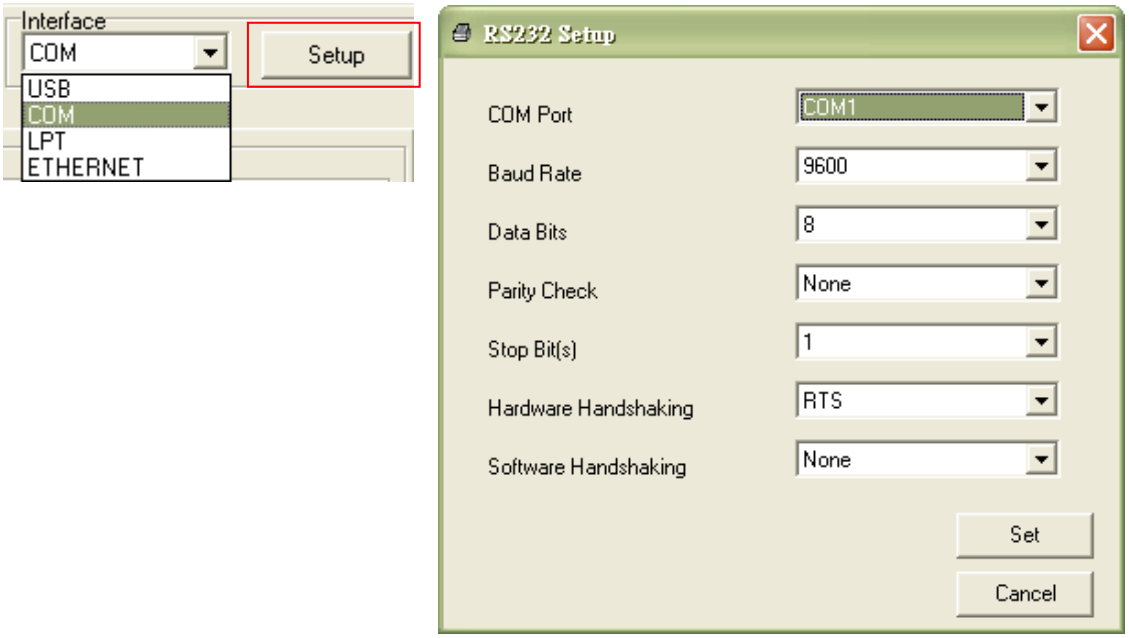
5. 「Printer Configuration（プリンタ構成）」タブの「Printer Function（プリンタ機能）」グループから「Ethernet Setup（イーサーネット設定）」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します



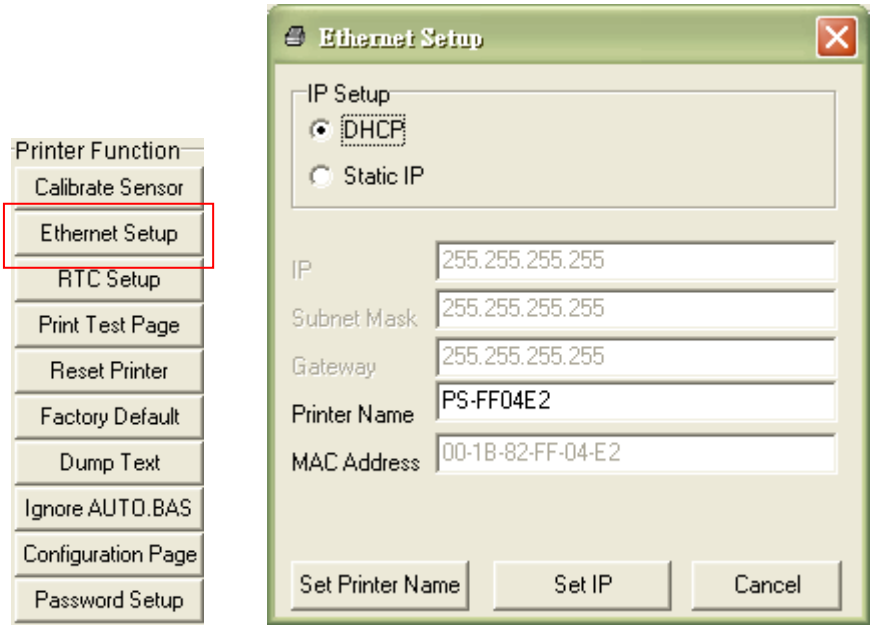
5.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. RS-232 ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. 

アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
注記：このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作します。
4. 「COM」をインターフェイスとして選択し、「Setup（設定）」ボタンをクリックしてシリアルポートボーレート、パリティチェック、データビット、ストップビット、フロー制御パラメータを設定します。



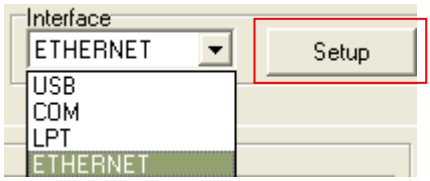
5. 「Printer Configuration（プリンタ構成）」タブの「Printer Function（プリンタ機能）」グループから「Ethernet Setup（イーサーネット設定）」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。

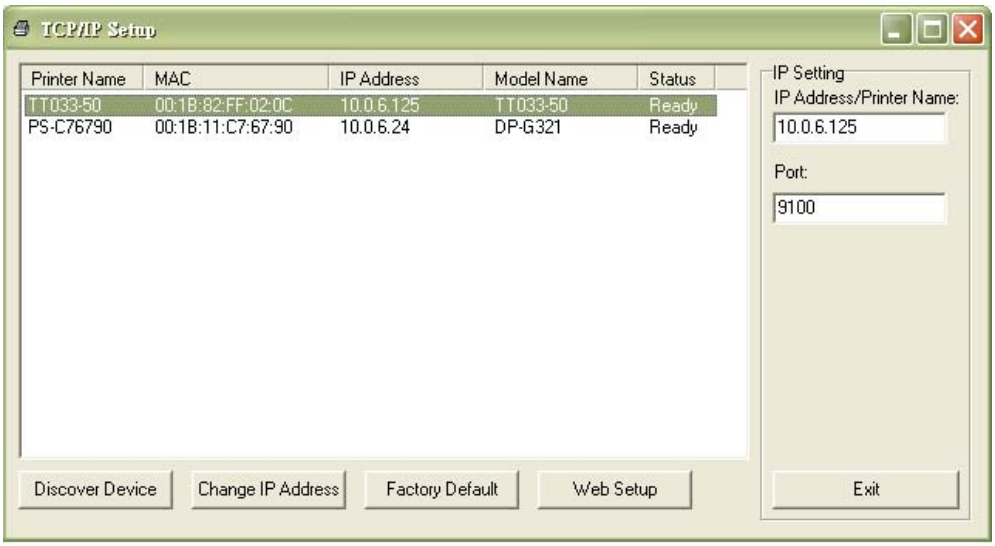


5.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する

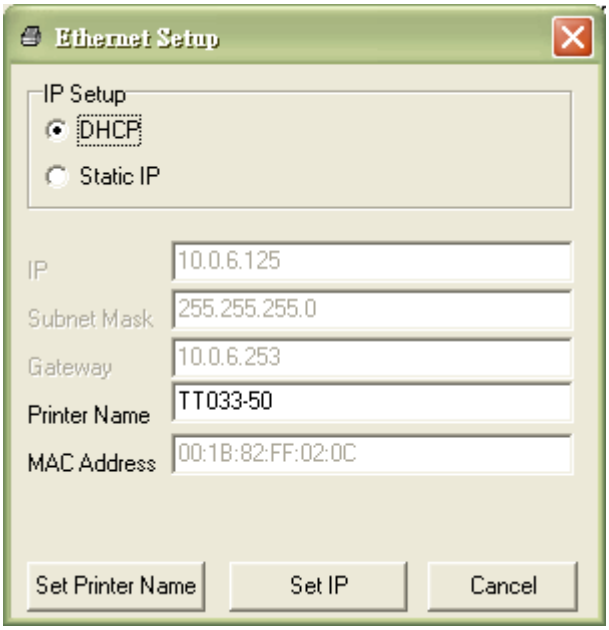
1. コンピュータとプリンタを LAN に接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3.

アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
注記：このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作します。
4. 「Ethernet（イーサネット）」をインターフェイスとして選択し、「Setup（設定）」ボタンをクリックしてオンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。





5. Discover Device（装置の発見）ボタンをクリックして、ネットワーク上に存在するプリンタを検索します。
6. リストされたプリンタの左側にあるプリンタを選択します。対応する IP アドレスが右側の IP address/Printer Name（IP アドレス/プリンタ名）フィールドに表示されます。
7. Change IP Address（IP アドレスの変更）をクリックし、DHCP またはスタティックによって得られた IP アドレスを構成します。



デフォルトの IP アドレスは DHCP によって得られます。設定をスタティックIPアドレスに変更するには、Static IP（スタティック IP）のラジオボタンをクリックしてから IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。Set IP（IP を設定）をクリックして設定を有効にします。

また、このフィールドに別のモデル名を入力して Printer Name（プリンタ名）を変更してから Set Printer Name（プリンタ名を設定）をクリックして、この変更を有効にすることもできます。

注記：Set Printer Name（プリンタ名を設定）または Set IP（IPを設定）ボタンをクリックするとプリンタがリセットされ、設定が有効になります。

8. Exit（終了）ボタンをクリックしてイーサネットインターフェイス設定を終了し、Diagnostic Tool（診断ツール）メイン画面に戻ります。

工場出荷時のデフォルトボタン

この機能は DHCP により得た IP、サブネットマスク、ゲートウェイのパラメータをリセットし、プリンタ名をリセットます。

ウェブ設定ボタン

プリンタの設定で Diagnostic Utility[診断ユーティリティ]を使用する場合を除き、プリンタ設定およびステータスを検索/構成したり、または IE や Firefox Web ブラウザでファームウェアを更新することができます。この機能は分かりやすい設定インターフェイスを提供し、ネットワーク上でプリンタをリモート管理します。

6. トラブルシューティング

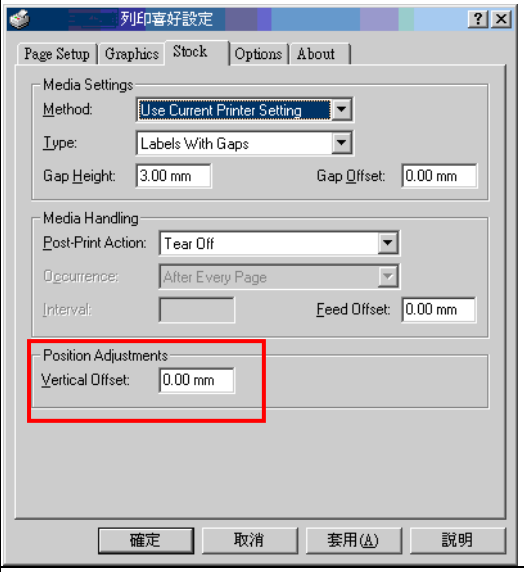
6.1 一般的な問題点

次のガイドは、本バーコードプリンタの操作中に発生する可能性のある最も一般的な問題点をリストアップしています。推奨されるすべての解決策を実行してもプリンタが正常に機能しない場合は、購入の小売店または販売業者のカスタマーサービス部にお問い合わせください。

問題	考えられる原因	回復手順
電源インジケータが点灯しない	*電源コードが正しく接続されていない場合があります。	* 電源コードをプリンタとコンセントに繋いでください。 * プリンタの電源を入れます。
Carriage Open	* プリンタのキャリッジが開いています。	* プリンタキャリッジを閉じてください。
No Ribbon	* リボン切れです。 * リボンが正しく取り付けられていません。	* 新しいリボンロールを補充します。 * リボンロールを再補充するには、取扱説明書の手順を参照してください。
No Paper	* ラベル切れです。 * ラベルが正しく取り付けられていません。 * ギャップ/ブラックマークセンサーが較正されていません。	* 新しいラベルロールを補充します。 * ラベルロールを再補充するには、取扱説明書の手順を参照してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーを較正してください。
Paper Jam	* ギャップ/ブラックマークセンサーが正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * ラベルがプリンタ機構内に詰まっている可能性があります。	* ギャップ/ブラックマークセンサーを較正してください。 * ラベルサイズを正しくセットしてください。
Take Label	* ピール機能が有効です。	ピーラーモジュールが取り付けられている場合は、ラベルを取り除いてください。 * ピーラーモジュールがプリンタ正面に取り付けられていない場合は、プリンタの電源を切り、取り付けてください。 * コネクタが正しく接続されているか確認してください。
UP: Fwd. **DOWN: Rev.** **MENU: Exit**	* カッタージャムです。 * プリンタにカッターが取り付けられていません。 * カッターPCB が破損しています。	* 買ったモジュールが取り付けられている場合、上あるいは下のキーを押して刈田を上下に回転し、刃の部分が正しい位置に戻るようにしてください。 * ラベルを取り除きます。 * ラベル厚が 200 g/m^2 未満（標準カッターの場合）あるいは 300 g/m^2（高耐久性カッターの場合）であることを確認してください。 * カッターPCB を交換します。

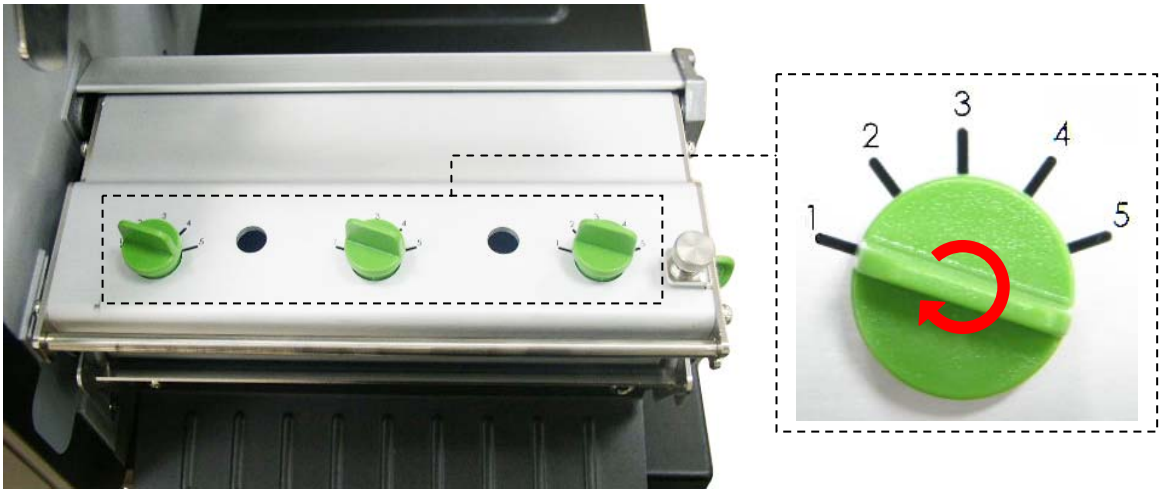
印刷できない	* ケーブルがシリアルあるいは USB インターフェイスまたはパラレルポートに適切に接続されていません。 * シリアルポートのケーブルピン構成がピンツーピン接続ではありません。	* ケーブルをインターフェイスに接続し直します。 * シリアルケーブルを使用している場合は、 ーケーブルをピンツーピン接続と交換してください。 ーボーレート設定を確認してください。プリンタのデフォルトのボーレート設定は 9600、n、8.1 です。 * イーサネットケーブルを使用している場合は、 - イーサネット RJ-45 コネクタの緑の LED が点灯しているかを確認します。 - イーサネット RJ-45 コネクタのオレンジ色の LED が点滅しているかを確認します。 - DHCP モードを使用している際にプリンタが IP アドレスを取得しているかどうかを確認します。 - スタティック IP アドレスを使用している際に IP アドレスが正しく取得されているかを確認します。 - プリンタがサーバと通信する間数秒間待ち、その後 IP アドレス設定を再度確認してください。 * 新しいケーブルに交換します。 * リボンとメディアが互換していません。 * リボンのインク塗装面を確認します。 * リボンを取り付け直します。 * プリントヘッドの汚れを取ります。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * プリンタヘッドのハーネスコネクタがプリンタヘッドと正確に接続されていません。プリンタの電源を切り、コネクタを接続し直します。 * ステッピングモーターが正しいコネクタに接続されているか確認します。 * プログラム上で、PRINT（印刷）のコマンドがファイルの終わりにあるか、また各コマンドラインの終わりに CRLF があることを確認します。
メモリが一杯である **(FLASH / DRAM)**	* FLASH/DRAM の容量が一杯です。	* FLASH/DRAM 内の未使用ファイルを削除してください。 * DRAM の最大数は 256 ファイルです。 * ユーザーがアドレス可能な DRAM の最大メモリ容量は 2048KB です。 * FLASH のファイル最大数は 256 です。 * ユーザーがアドレス可能な FLASH の最大メモリ容量は 6656KB です。
SD カードが使用できない	* SD カードが破損しています。 * SD カードが正しく挿入されていません。 * 認定 SD カード製造元のカードではありません。	* サポートされている容量の SD カードを使用します。 * SD カードを挿入し直します。 * サポートされている SD カード仕様および認定 SD カード製造元については、セクション 2.2.3 を参照してください。
PS/2 ポートが動作しない	* PS/2 キーボードを接続する前に電源をオフにしなかった場合があります。 * PS/2 キーボードが破損しています。 * PS/2 キーボードが正しく接続されていません。 * プリンタに BAS ファイルがありません。	* PS/2 キーボードを接続する前にプリンタの電源をオフにしてください。 * PS/2 キーボードを接続し直します。 * キーボードに問題がないことを確認してください。 * プリンタに BAS ファイルがダウンロードされているかを確認します。

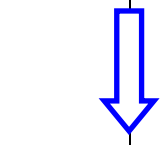
印刷の質が悪い	* リボンとメディアの取り付けが不適切です。 * プリンタヘッドに汚れや粘着物が付着しています。 * 印刷濃度が正しく設定されていません。 * プリンタヘッド部位が破損しています。 * リボンとメディアが互換していません。 * プリンタヘッド圧力が正しく設定されていません。	* 電源装置をリロードします。 * プリントヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。 * 印刷濃度と印刷速度を調整します。 * プリンタのセルフテストを実行し、パターンにドットの欠落がないかプリントヘッドのテストパターンを点検します。 * 適切なリボンおよびラベルメディアに交換します。 * プリンタヘッド圧力調節ノブを調節します。 - 左側の印刷が薄すぎる場合、左側の圧力調節ノブを高いインデックス（高い圧力）に調節してください。圧力調節の分がインデックス「5」に調節されているものの、左側の印刷画質が良好でない場合、中央圧力調節ノブを増加方向に回します。 - 右側の印刷が薄すぎる場合、右側の圧力調節ノブを高いインデックス（高い圧力）に調節して印刷画質を向上させます。 * リリースレバーがプリントヘッドに正しく嵌まっていません。
LCD パネルが無点灯で、キーが作動しない	* メイン PCB と LCD パネルを繋ぐケーブルが緩んでいます。	* メインPCBとLCDパネルを繋ぐケーブルがしっかり固定されているか確認してください。
LCD パネルは無点灯だが、LED は点灯している	* プリンタを初期化できませんでした。	* プリンタの電源を入れ直します。 * プリンタを初期化します。
LCD パネルは無点灯で、LED は点灯しているがラベルは前方にフィードされている	* LCD パネルハーネスコネクタが緩んでいます。	* LCD パネルハーネスコネクタが上下反転して接続されています。
リボンエンコーダセンサーが動作しない	* リボンエンコーダセンサーのコネクタが緩んでいます。	* コネクタを締めます。
リボンエンドセンサーが動作しない	* コネクタが緩んでいます。 * リボンせーサーホールに埃が詰まっています。	* コネクタを確認します。 * センサーホールの埃をブロワーで掃除します。
ピールセンサーが動作しない	* ピールセンサーが正しい位置に配置されていません。 * コネクタが緩んでいます。	* メディアがピールセンサーを通過するよう確認してください。 * 接続ケーブルを正しく接続してください。
カッターが動作しない	* コネクタが緩んでいます。	* 接続ケーブルを正しく接続してください。
印刷の際に、ラベルフィードが安定していない(曲がる)	* メディアガイドがメディアの端に接していません。	* ラベルが右側に動く場合は、ラベルガイドを左に移動してください。 * ラベルが左側に動く場合は、ラベルガイドを右に移動してください。
印刷中にラベルがスキップされる	* ラベルサイズが正しく指定されていません。 * センサー感動が正しく設定されていません。 * メディアセンサーに埃が溜まっています。	* ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * 自動ギャップあるいは手動ギャップオプションによりセンサーを較正してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーをブロワーで清掃してください。

小さいラベルの印刷位置が適切ではない	* メディアセンサー感動が正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しくありません。 * LCD メニューの Shift(シフト) Y のパラメータが正しくありません。 * ドライバの垂直オフセット設定が正しくありません。	* センサー感度を再度較正します。 * 正しいラベルサイズとギャップサイズを設定します。 * [MENU(メニュー)] → [SELECT(選択)] x3→[DOWN(下)]x6 → [SELECT(選択)]を押して Shift(シフト) Y のパラメータを微調整します。 * BarTender ソフトウェアを使用している場合、ドライバの垂直オフセットを設定してください。 
印刷結果の左側の位置が正しくない	* ラベルサイズの設定が正しくありません。 * LCD メニューの Shift(シフト) X のパラメータが正しくありません。	* 正しいラベルサイズを設定します。 * [MENU(メニュー)] → [SELECT(選択)] x3→[DOWN(下)]x5 → [SELECT(選択)]を押して Shift(シフト) X のパラメータを微調整します。
ラベルの左側あるいは右側に、印刷されていない部分がある	* ラベルサイズの設定が正しくありません。	* 正しいラベルサイズを設定します。
印刷を再起動する際の RTC タイムが正しくありません。	* バッテリーが残り僅かになっています。	* メインボードにバッテリー残量があるか確認します。
マルチインターフェイスボードが動作しない	* 取り付けが正しくありません。	* ボードが正しいコネクタに接続されているか確認します。
電源およびエラーLED が速く点滅している	* 電源をオフにし、オンにするのが速すぎた場合があります。	* プリンタをオフにし、すべてのLEDが消灯するまで待ってから再度電源をオンにします。
皺がよる	* プリンタヘッド圧力が正しくありません。 * リボンの取り付けが正しくありません。 * メディアの取り付けが正しくありません。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * メディアのフィードが正しくありません。	* 5.2 章を参照してください。 * 適切な濃度を設定して印刷画質を向上させてください。 * ラベルガイドがメディアガイドのの端に接するようにしてください。
空白ラベルにグレーのラインが印刷される	* プリンタヘッドが汚れています。 * プラテンローラーが汚れています。	* プリントヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。
印刷が不規則である	* プリンタが 16 進ダンプモードになっています。 * RS-232 設定が不適切です。	* ダンプモードをスキップするには、プリンタをオフにし、再度オンにします。 * RS-232 設定をリセット

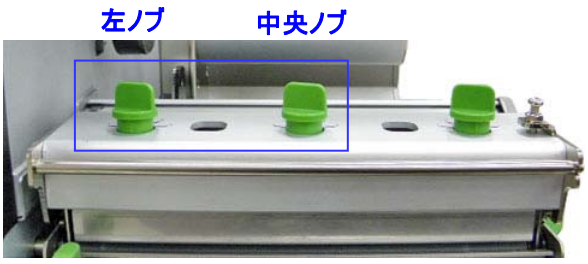
6.2 リボンの皺を防ぐ機構微調整

このプリンタは発送前に完全な検査を受けています。一般用途印刷において、メディア上にリボンの皺が表れることはありません。リボンの皺はメディアの厚み、プリンタヘッド圧力バランス、リボンフィルム特性、印刷濃度設定などにより発生します。リボンの皺が発生した場合は、次の手順に従ってプリンタ部位を調整してください。

<table>
<tr><td>調節可能なプリンタ部品</td><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>問題点</td><td>1. ラベルの左下から右上にかけて皺が発生する (“／”)</td><td>2. ラベルの右下から左上にかけて皺が発生する (“＼”)</td></tr>
<tr><td>皺の例</td><td>


</td><td>
</td></tr>
</table>

プリンタヘッド圧力調節ノブの調節



プリンタヘッド圧力調節ノブには、調節できる５つのレベルがあります。時計回りに回すとプリンタヘッドの圧力が上がります。反時計回りに回すと、プリンタヘッドの圧力が下がります。
ラベルの皺が左下から右上にかけて入る場合は、次のように調節してください。

1. 右側のプリンタヘッド圧力調節ノブを１レベルずつ下げながらラベルを再印刷し、皺がなくなるかどうかを確認します。
2. 右側のプリンタヘッド調節ノブ設定がインデックス１(一番圧力が低い位置)の場合、左側のプリンタヘッド圧力を上げてください。
3. 左側のプリンタヘッド調節ノブ設定がインデックス５(一番圧力が高い位置)でありながら皺が取れない場合、中央のプリンタヘッド圧力ノブを高めてください。
4. それでも皺が取れない場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

圧力ノブ調整基準:

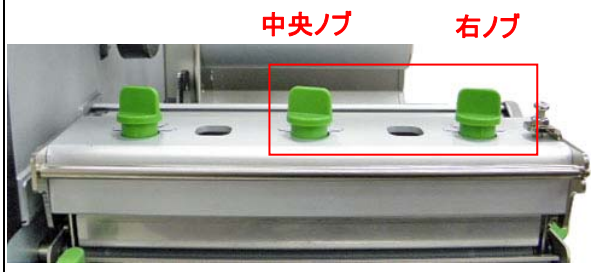
- ６インチラベル

左インデックス	中央インデックス	右インデックス
2	1	1
3	1	1
4	1	1
5	1	1
5	2	1
5	3	1
5	4	1
5	5	1

- ３インチラベル

左インデックス	中央インデックス	右インデックス
2	2	1
3	3	1
4	4	1
5	5	1

プリンタヘッド圧力調節ノブの調節



プリンタヘッド圧力調節ノブには、調節できる５つのレベルがあります。時計回りに回すとプリンタヘッドの圧力が上がります。反時計回りに回すと、プリンタヘッドの圧力が下がります。
ラベルの皺が右下から左上にかけて入る場合は、次のように調節してください。

1. 左側のプリンタヘッド圧力調節ノブを１レベルずつ下げながらラベルを再印刷し、皺がなくなるかどうかを確認します。
2. 左側のプリンタヘッド調節ノブ設定がインデックス１(一番圧力が低い位置)の場合、右側のプリンタヘッド圧力を上げてください。
3. 右側のプリンタヘッド調節ノブ設定がインデックス５(一番圧力が高い位置)でありながら皺が取れない場合、中央のプリンタヘッド圧力ノブを高めてください。
4. それでも皺が取れない場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

圧力ノブ調整基準:

- ６インチラベル

左インデックス	中央インデックス	右インデックス
1	1	2
1	1	3
1	1	4
1	1	5
1	2	5
1	3	5
1	4	5
1	5	5

- ３インチラベル

左インデックス	中央インデックス	右インデックス
1	2	2
1	3	3
1	4	4
1	5	5

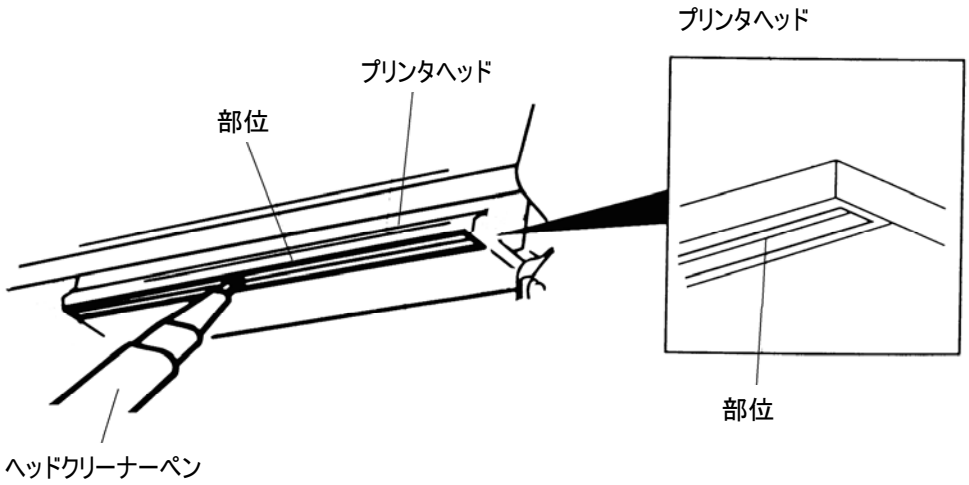
7. メンテナンス

このセッションでは、プリンタを保守するための清浄ツールおよび方法を示します。

1. プリンタを清浄するには次のいずれかの材料を使用してください。

- 綿棒（ヘッドクリーナーペン）
- 柔らかい布
- 真空/ブロワーブラシ
- 100% エタノール

2. 清浄は次のプロセスで行なってください。

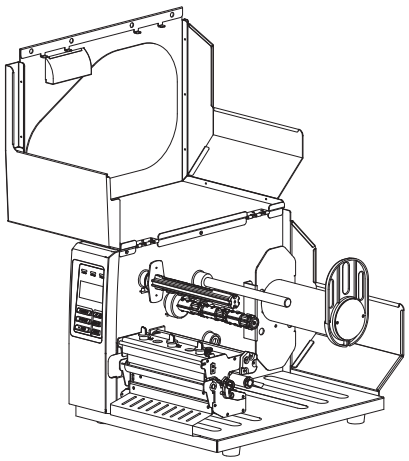
<table>
<tr><th>プリンタ部品</th><th>方法</th><th>間隔</th></tr>
<tr><td rowspan="2">プリントヘッド</td><td>1. プリントヘッドを清浄する前に必ずプリンタの電源を切ってください。
2. 少なくとも1分間、プリンタヘッドが冷却されるのを待ちます。
3. 綿棒(ヘッドクリーナーペン)と100%エタノールを使ってプリントヘッドの表面を拭きます。</td><td>新しいラベルロールを使う時はプリントヘッドを拭いてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>プラテンローラー</td><td>1. プリンタの電源を切ります。
2. プラテンローラーを回転し、100%エタノールと綿棒、または柔らかい布でそれを完全に拭き取ります。</td><td>新しいラベルロールを使う時はプラテンローラーを拭いてください。</td></tr>
<tr><td>テアバー/ピールバー</td><td>柔らかい布と100%エタノールを使って拭き取ります。</td><td>必要に応じて</td></tr>
<tr><td>センサー</td><td>圧縮空気または真空</td><td>毎月</td></tr>
<tr><td>外面</td><td>水で湿らせた布で拭きます</td><td>必要に応じて</td></tr>
<tr><td>内面</td><td>ブラシまたは掃除機</td><td>必要に応じて</td></tr>
</table>

注記:

- プリンタヘッドに手を触れないでください。うっかりヘッドに触れてしまった場合は、エタノールを使って汚れを取り除きます。
- 100%エタノールを使ってください。医療用アルコールを使わないでください。プリンタヘッドが破損する可能性があります。
- 新しいリボンに交換した際は、プリンタの性能を維持しプリンタの寿命を延ばすために、プリンタヘッドと電源センサーを定期的に洗浄します。

改訂履歴

日付	内容	編集者



プリンタ機能

本社
9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)
電話：+886-2-2218-6789
ファックス：+886-2-2218-5678
ホームページ：www.tscprinters.com
電子メール：printer_sales@tscprinters.com
tech_support@tscprinters.com

Li Ze 施設
No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie
Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)
電話：+886-3-990-6677
ファックス：+886-3-990-5577